

龍谷大学 履修要項
2026年度 文学部

🕒 最終更新日：2026年3月10日

2026年度入学生

文学部

2026年度入学生 文学部 メニュー

「教育理念・目的」「卒業認定・学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」

>

• 文学部の教育理念・目的 >

• 各学科・専攻の教育理念・目的 >

[真宗学科 >](#)

[仏教学科 >](#)

[哲学科哲学専攻 >](#)

[哲学科教育学専攻 >](#)

[歴史学科日本史学専攻 >](#)

[歴史学科東洋史学専攻 >](#)

[歴史学科仏教史学専攻 >](#)

[歴史学科文化遺産学専攻 >](#)

[日本語日本文学科 >](#)

[英語英米文学科 >](#)

• 文学部の卒業認定・学位授与の方針 [学士 (文学)] >

• 文学部の教育課程編成・実施の方針 >

文学部の教育目的および履修方法

>

• カリキュラム概念図 >

• 先修制 >

• 深草・大宮学舎間の連続受講について >

• 大学院文学研究科開講科目の早期履修制度 >

文学部専攻科目の教育目的および履修方法

>

• 【1】カリキュラムマップ・必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >

[【真宗学科カリキュラムマップ】 >](#)

[■真宗学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >](#)

[【仏教学科カリキュラムマップ】 >](#)

[■仏教学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >](#)

[【哲学科哲学専攻カリキュラムマップ】 >](#)

[■哲学科哲学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >](#)

[【哲学科教育学専攻カリキュラムマップ】 >](#)

[■哲学科教育学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >](#)

[【歴史学科日本史学専攻カリキュラムマップ】 >](#)

[■歴史学科日本史学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >](#)

[【歴史学科東洋史学専攻カリキュラムマップ】 >](#)

[■歴史学科東洋史学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >](#)

[【歴史学科仏教史学専攻カリキュラムマップ】 >](#)

[■歴史学科仏教史学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >](#)

[【歴史学科文化遺産学専攻カリキュラムマップ】 >](#)

[■歴史学科文化遺産学専攻 専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >](#)

[【日本語日本文学科カリキュラムマップ】 >](#)

[■日本語日本文学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >](#)

[【英語英米文学科カリキュラムマップ】 >](#)

[■英語英米文学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧 >](#)

• 【2】選択専攻科目 開設科目一覧 >

- 真宗学科関係科目 >
- 仏教学科関係科目 >
- 哲学科哲学専攻関係科目 >
- 哲学科教育学専攻関係科目 >
- 歴史学科関係科目 >
- 日本語日本文学科関係科目 >
- 英語英米文学科関係科目 >
- 教職課程関係科目 >
- 博物館学芸員課程関係科目 >
- 矯正・保護課程関係科目 >
- 留学関係科目（RISE Program関係科目は除く） >
- 文学部共通科目 >
- キャリア開発科目 >

- 【3】 随意科目 開設科目一覧 >

- 教職課程科目 >
- 博物館学芸員課程科目 >
- 図書館司書課程科目（2012年度以降入学生対象科目） >
- 学校図書館司書教諭課程科目 >
- 本願寺派教師資格課程科目 >

- 【4】 グレイドナンバー制 >

- 【5】 科目ナンバリング >

諸課程 >

- 【1】 本願寺派学階課程 >

- 1) 学階の種類 >
- 2) 昇階の定年（学階規程第9条第1項関係） >
- 3) 学階試験 >
- 4) 学階試験（予試本試）の免除 >
- 5) 学階試験（予試本試）の免除に係わる特例 >
- 6) 適用上の注意 >

- 【2】 社会福祉主事任用資格課程 >

- 【3】 児童指導員任用資格・児童の遊びを指導する者任用資格 >

- 1. 児童指導員任用資格 >
- 2. 児童の遊びを指導する者任用資格 >

- 【4】 国際伝道者養成プログラム >

各種留学・国際文化交流研修・海外研修について >

- 【1】 Ryukoku Intercultural Study Experience Program >

- 1) 5-week >
- 2) Semester >

- 【2】 交換留学・私費留学における単位認定 >

- 1) 認定の上限および分野 >
- 2) 1単位の認定にあたっての学修時間の目安 >
- 3) 卒業年次に留学する場合の注意点 >
- 4) 後期から留学する場合の通年開講の演習科目の取り扱い >

- 【3】 国際文化交流研修 >

- 1) 受講対象 >
- 2) 科目名等 >
- 3) 認定単位 >
- 4) 履修申込手続き >
- 5) 単位認定・成績評価 >

- 【4】 海外研修 >

- 1) 英語集中プログラム >
- 2) 台湾留学プログラム >

ルーブリックについて >

- ルーブリック >

- (1) 「ルーブリック」とは >
- (2) 文学部アカデミック・リテラシー・ルーブリック >
- (3) 卒業論文ルーブリック >

「教育理念・目的」「卒業認定・学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」

文学部の教育理念・目的

建学の精神に基づいて、人文学的知的体系の研究・教授を通じ、現代社会の複雑な変化や諸問題に、自己を見失うことなく積極的・主体的に対応しつつ、社会に貢献できる教養及び専門性を備えた人間を育成することを目的とする。

各学科・専攻の教育理念・目的

真宗学科

親鸞によって開顕された浄土真宗の教義を、浄土教理史・真宗教義学・真宗教学史・真宗伝道学の4分野にわたって探究し、広い視野に立って真宗教義の真理性を明らかにするとともに、現代社会の諸問題に対応できる人間を育成することを目的とする。

仏教学科

インド・中国・日本等の諸地域に及ぶ仏教の多様な展開を「仏教と文化」「仏教と現代」の2つの視座から学ぶことによって専門的知識の修得と論理的洞察力の涵養を図り、現代社会の諸問題に対応できる人間を育成することを目的とする。

哲学科哲学専攻

哲学の歴史を深く学び、他者との対話によってあらゆる物事の本質を考えるとともに、現代の諸科学や社会の動向をも吟味しつつ、哲学的・倫理的・宗教的諸問題の解決に寄与する、論理的洞察力に富んだ人間を育成することを目的とする。

哲学科教育学専攻

深い人間理解に基づいて、教育の本質・方法や社会・文化との関係、個人の発達・成長・学習などについての基本的な考え方・見識を養い、人間本来の生き方や発達のメカニズムなどを追究して、生涯学習社会における実践的課題に応えられる人間を育成することを目的とする。

歴史学科日本史学専攻

日本史の各時代・領域に関する教育・研究を通して、専門知識・技能を修得し、併せて批判的精神と確かな歴史認識をもった歴史的主体として、現代社会に貢献できる人間を育成することを目的とする。

歴史学科東洋史学専攻

中国をはじめ、アジア諸地域の歴史・文化・宗教・言語に関する専門的な知識と技能を修得し、明確な歴史認識をもち、広い視野に立ってアジア全体を深く洞察できる人間を育成することを目的とする。

歴史学科仏教史学専攻

歴史的な視点に立って、仏教が、それぞれの時代・地域の中でどのように受け入れられ展開してきたのかを考察することにより、歴史的主体として現代社会に貢献できる人間を育成することを目的とする。

歴史学科文化遺産学専攻

文化遺産の歴史的意義を考え、将来へと守り伝えるための方法と技法を習得し、地域の文化的媒体として活用できる人材を育成する。あわせて、文化財の調査・研究、その保存と活用を行うための専門教育を通して、仏教美術・寺院建築・仏教儀礼等に向き合い、「建学の精神」を体現した自主的判断能力を持つ感受性の豊かな専門家を育成する。

日本語日本文学科

日本語の正しい理解力、日本の言語文化に関する専門的読解力、論理的思考力、および表現力を修得し、「ことば」によって成り立つ社会の持続的発展に主体的に貢献できる人間を育成することを目的とする。

英語英米文学科

英国・米国をはじめとする英語圏に関する言語・文学・文化についての知識を修得し、広い視野に立って英語圏地域を深く洞察する能力を身に付け、国際化する現代社会の諸問題に対応できる人間を育成することを目的とする。

文学部の卒業認定・学位授与の方針針 [学士 (文学)]

文学部の「教育理念・目的」を達成していくために、すべての学生に保証する基本的な資質・能力、学位授与に必要とされる単位数及び卒業認定の方針を次に掲げる。

<文学部の学生に保証する基本的な資質・能力>

①：建学の精神の具現化	<ul style="list-style-type: none">建学の精神の意義について理解している。
②：(③の基礎となる)「知識・技能」の修得	<ul style="list-style-type: none">人間社会において「言葉 (ことば)」の持つ影響力について深く理解し、人文学の幅広い知識を身につけている。日本語を正確に理解し、論理的な文章を書くと同時に、自らの見解を分かりやすく伝達するための方法を身につけている。外国語運用能力や豊かな教養を身につけている。
③：(④の基礎となる)「知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力 (「思考力・判断力・表現力」)」の発展・向上	<ul style="list-style-type: none">他者との相互理解を可能とするような対話能力を身につけている。自らが設定した課題について、探求、発見、追究、解決という一連のプロセスを達成する能力を多角的に身につけている。論理的思考力を培い、現代社会が問いかける問題に対して、多角的に思考・判断することができる。
④：主体性をもって多様な人々と協働する態度 (「主体性・多様性・協働性」)の発展・向上	<ul style="list-style-type: none">多様な価値観を認め、言葉 (ことば) の学修をはじめとした学びを通じて自己の認識を広げ、異なる価値観を受容することができる。他者との交流や異なる価値観を受容を通じて、自己を客観視し、他者と協働することができる。社会が必要とする職業観・勤労観と生涯を通じた持続的な就業力を身につけている。

<学位授与に必要とされる単位数及び卒業認定の方法>

- 学部に4年以上在学し、所定の科目を履修しその単位を修得した者に対し、学長は教授会の議を経て卒業を認定する。
- 卒業認定を受けるためには、所定の124単位以上の単位数を必要とする。
- 卒業年次には、「卒業論文」を提出しなければならない。卒業論文提出後に口述試問を実施し、複数の教員によって厳格な評価を行う。

文学部の教育課程編成・実施の方針

文学部では、卒業時に「教育理念・目的」や、「卒業認定・学位授与の方針」に明示した「学生に保証する基本的な資質・能力」を確実に身につけられるように確かなカリキュラムを編成している。具体的には以下の方針に基づく

<文学部の教育内容>

①：建学の精神の具現化	<ul style="list-style-type: none">建学の精神の意義について理解するために、1年次配当 (第1・第2セメスター配当) の「仏教の思想」科目 (「仏教の思想A」・「仏教の思想B」) を全学必修科目として開講する。
-------------	---

<p>②：(③の基礎となる)「知識・技能」の修得</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を身につけるために、1年次配当(第1・第2セメスター配当)の言語科目(英語および英語以外の複数の外国語科目)を開講する。 • 諸学の基本を理解し、幅広い教養を身につけるために、1年次配当(第1・第2セメスター配当)の教養科目(人文科学系・社会科学系・自然科学系・スポーツ科学系等)を開講する。 • 人文学に関する知識・技能を身につけるために「普通講義」を開講する。 • 大学での学びの基本的な方法や、日本語の文章作成のための能力を育成するために「基礎演習」(1・2年次)を配置する。 • 学生が自主的に設定した学修テーマを追究し、問題解決へと至る知識と技能を養成するために、「演習Ⅰ」(3年次)および「演習Ⅱ」(4年次)を開講する。 • 文献を読解する能力の養成をはかり、それによって人文学の幅広い教養を身につけることができるように、「講読」科目を2年次以降に開講する。
<p>③：(④の基礎となる)「知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力(「思考力・判断力・表現力」)の発展・向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を活用して異文化を理解する能力を身につけるために、2年次配当(第3・第4セメスター配当)の言語科目(英語および英語以外の複数の外国語科目)を開講する。 • 幅広い教養を活用して多角的に思考・判断・表現する能力を身につけるために、2年次配当(第3・第4セメスター配当)の教養科目(人文科学系・社会科学系・自然科学系・スポーツ科学系等)を開講する。 • 学生が自主的に設定した学修テーマに基づく発表やレポート作成等を通じて、課題を追究し、解決へと至る能力を養成するために、「演習Ⅰ」(3年次)および「演習Ⅱ」(4年次)を開講する。また、これらの活動を通じて思考力・判断力・表現力を伸張するために「卒業論文」を必修とする。 • 批判的能力やものごとの本質を見極める力を養成するために「基礎演習」「演習」科目を全学年で設置し、「普通講義」等で学んだ知識を現実の社会で活用できる能力を養成する。 • 人文学の専門領域の研究を通じて見いだされた知見をもとに思考力・判断力・表現力を高めるために、特定のテーマを取り上げる「特殊講義」を3年次から開講する。
<p>④：主体性をもって多様な人々と協働する態度(「主体性・多様性・協働性」)の発展・向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 学生同士がディスカッションを行う中で、知識を構成していけるように、4年間を通じて開講される「基礎演習」「演習」では少人数のクラス編成を行い、TA、学修支援員のサポートによって学生同士が共に学ぶことの意味を探究させられるようにする。 • 学科専攻の枠を超えた科目履修によって人文学の多様な専門領域を学ぶ学生が共に学べるように選択科目を設定する。 • 社会が必要とする職業観・勤労観を醸成し、生涯を通じた持続的な就業力を育成するために、「キャリア啓発科目」と「キャリア形成科目」を開講する。

<教育方法>

- 学生が自らの学修目的にあわせて各科目の性格やその科目の開講時期(配当セメスター)を考慮しながら系統的に履修できるような科目(講義・演習・講読・実技・実験・実習等)を開設する。
- 全ての科目は、講義概要・到達目標・講義方法・授業評価の方法・授業計画等を掲載したシラバスに沿って実施する。

<学修成果の評価>

- 学修成果の有無やその内容を評価するために、科目の特性に応じて、おおよそ次の4種類の方法のうちの一つまたは複数を合わせて評価を行う。
 - ① 筆答試験による評価
 - ② レポート試験による評価
 - ③ 実技試験による評価
 - ④ 授業への取組状況や小テストなど、担当者が設定する方法による評価
- 卒業論文の評価は、論文評価と口述試問評価によって行う。

文学部の教育目的および履修方法

カリキュラム概念図

〈文学部全体の概念図〉（網掛けは教育学専攻の学生の履修を例にしたもの）

卒業要件124単位					
必修専攻科目	選択専攻科目	フリーゾーン 20単位	教養教育科目		
44単位 (哲学科哲学専攻は48単位) (歴史学科仏教史学専攻は48単位) (歴史学科文化遺産学専攻は46単位)	24単位以上 (哲学科哲学専攻は20単位以上) (歴史学科仏教史学専攻は20単位以上) (歴史学科文化遺産学専攻は22単位以上)		教養科目 20単位以上	言語科目 12単位以上	「仏教の思想」科目 4単位以上
真宗学科開設科目 仏教学科開設科目 哲学科哲学専攻開設科目 哲学科教育学専攻開設科目 歴史学科日本史学専攻開設科目 歴史学科東洋史学専攻開設科目 歴史学科仏教史学専攻開設科目 歴史学科文化遺産学専攻開設科目 日本語日本文学科開設科目 英語英米文学科開設科目	真宗学関係科目 仏教学関係科目 哲学関係科目 教育学関係科目 日本史学関係科目 東洋史学関係科目 仏教史学関係科目 文化遺産学関係科目 日本語日本文学関係科目 英語英米文学関係科目	←	人文科学系科目・社会科学系科目 自然科学系科目・スポーツ科学系科目 人文科学系科目・社会科学系科目・自然科学系科目の各分野から1科目(2単位)以上を修得し、合計20単位以上修得。	必修外国語科目 (英語・初修外国語) 選択外国語科目	必修科目(4単位) 仏教の思想A 仏教の思想B 選択科目 「歎異抄の思想A・B」

説明

1. 必修専攻科目は、所属する学科・専攻の開設科目の中から、履修規定にしたがって、44単位（哲学科哲学専攻・歴史学科仏教史学専攻は48単位/歴史学科文化遺産学専攻は46単位）を修得してください。
2. 選択専攻科目は、所属する学科・専攻にかかわらず、文学部7学科6専攻の全関係科目の中から24単位（哲学科哲学専攻・歴史学科仏教史学専攻は20単位以上/歴史学科文化遺産学専攻は22単位以上）を修得してください。
3. 選択外国語科目の単位を修得した場合は、教養科目の単位として扱われます。
4. フリーゾーンは、選択専攻科目及び教養科目、選択外国語科目から自由に選択して20単位を修得してください。

〈学科・専攻別の詳細図〉

真宗学科 教理史コース 教学史コース 教義学コース 伝道学コース	仏教学科 仏教と文化コース 仏教と現代コース	哲学科 哲学専攻	哲学科 教育学専攻	歴史学科 日本史学専攻	歴史学科 東洋史学専攻	歴史学科 仏教史学専攻	歴史学科 文化遺産学専攻	日本語 日本文学科 古典文学コース 近代文学コース 情報出版学コース 日本語学コース	英語 英米文学科 英文学コース 米文学コース 英語学コース 英米文化コース
必修専攻科目 44単位	必修専攻科目 44単位	必修専攻科目 48単位	必修専攻科目 44単位	必修専攻科目 44単位	必修専攻科目 44単位	必修専攻科目 48単位	必修専攻科目 46単位	必修専攻科目 44単位	必修専攻科目 44単位

選択専攻科目24単位以上(哲学科哲学専攻・歴史学科仏教史学専攻は20単位以上、歴史学科文化遺産学専攻は22単位以上)
 選択専攻科目として設けられた科目。
 「44単位(哲学科哲学専攻・歴史学科仏教史学専攻は48単位、歴史学科文化遺産学専攻は46単位)を超えて履修する必修専攻科目。
 他学科・専攻の必修専攻科目(「基礎演習」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「卒業論文」「1年次または2年次のみ講読」、英語英米文学科開設科目の「English Listening A・B」「English Academic Writing IA・IB」を除く)。

フリーゾーン (20単位)

選択専攻科目と教養教育科目(教養科目・言語科目・「仏教の思想」科目)から選択してください。

【教養教育科目】

教養科目：人文科学系科目・社会科学系科目・自然科学系科目の各分野から1科目(2単位)以上を修得し、合計20単位以上修得。
(人文科学系科目・社会科学系科目・自然科学系科目・スポーツ科学系科目)

言語科目：必修外国語科目(英語・初修外国語) (12単位) / 選択外国語科目

「仏教の思想」科目(必修：4単位)：仏教の思想A(2単位) 仏教の思想B(2単位) / 選択科目「歎異抄の思想A・B」

諸課程

- 教職課程
- 学校図書館司書教諭課程
- 図書館司書課程
- 本願寺派教師資格課程
- 博物館学芸員課程
- 社会福祉主事課程
- 本願寺派学階課程
- 特別研修講座

真宗学科 合計 124単位	仏教学科 合計 124単位	哲学科 哲学専攻 合計 124単位	哲学科 教育学専攻 合計 124単位	歴史学科 日本史学専攻 合計 124単位	歴史学科 東洋史学専攻 合計 124単位	歴史学科 仏教史学専攻 合計 124単位	歴史学科 文化遺産学専攻 合計 124単位	日本語 日本文学科 合計 124単位	英語 英米文学科 合計 124単位
---------------------	---------------------	----------------------------	-----------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	----------------------------

先修制

先修制とは、ある科目を履修する場合に、履修の要件として指定された科目及び単位数の修得を必要とする制度です。これは、その科目の学修成果をより高めるために設けられた「学修の順序」です。

したがって、先修制が設定されている科目とその履修の要件として指定された科目を同一学期に履修することはできません。

先修制が設定されている科目は次のとおりです。

<学部専攻科目>

授業科目	履修の要件となる授業科目および単位数
サンスクリット語仏典入門A2	サンスクリット語仏典入門A1
サンスクリット語仏典入門B2	サンスクリット語仏典入門B1
チベット語仏典入門A2	チベット語仏典入門A1
チベット語仏典入門B2	チベット語仏典入門B1
パーリ語仏典入門B	パーリ語仏典入門A
教育心理学	人間科学概論
認知心理学	人間科学概論
学習心理学	人間科学概論
日本史学演習Ⅰ【歴史学科日本史学専攻】	日本史学基礎演習ⅠA,ⅠB,ⅡA,ⅡBの合計8単位のうち、4単位以上修得
日本史学演習Ⅱ【歴史学科日本史学専攻】 卒業論文【歴史学科日本史学専攻】	日本史学基礎演習ⅠA,ⅠB,ⅡA,ⅡBの合計8単位

深草・大宮学舎間の連続受講について

原則として、深草学舎と大宮学舎間の連続受講は認められません。ただし、次の場合に限り、連続受講が認められます。

- (a) 2講時と3講時の学舎間連続受講（昼休みを含み移動時間が確保されているため）
- (b) 演習科目・卒業要件である必修科目・資格取得に関わる必修科目の受講（選択必修科目は除きます）
- (c) (b) にかかわらず残りの卒業要件単位からみて選択必修が事実上必修となる科目の受講
- (d) その他、文学部教授会において必要であると認められた科目の受講

連続受講となる科目のうち、1つの時間帯の科目（例：3講時・深草、4講時・大宮の場合における、4講時・大宮開講科目）の履修機会が次年度にある場合は、上記の条件であっても大宮・深草学舎間連続受講を許可しません。卒年次生以外は、次年度に履修機会があるので、原則として次年度登録をすることとします。

大学院文学研究科開講科目の早期履修制度

本学文学部卒業年次生のうち、本学大学院文学研究科へ進学する者で、特に優秀で勉学意欲の旺盛な者に対する教育上の特例措置として、学士課程における修学に支障のない範囲で、本学大学院文学研究科科目の履修を認める制度です。対象科目、申請時期、単位認定等の詳細については、ポータルサイトお知らせ等でお知らせします。

文学部専攻科目の教育目的および履修方法

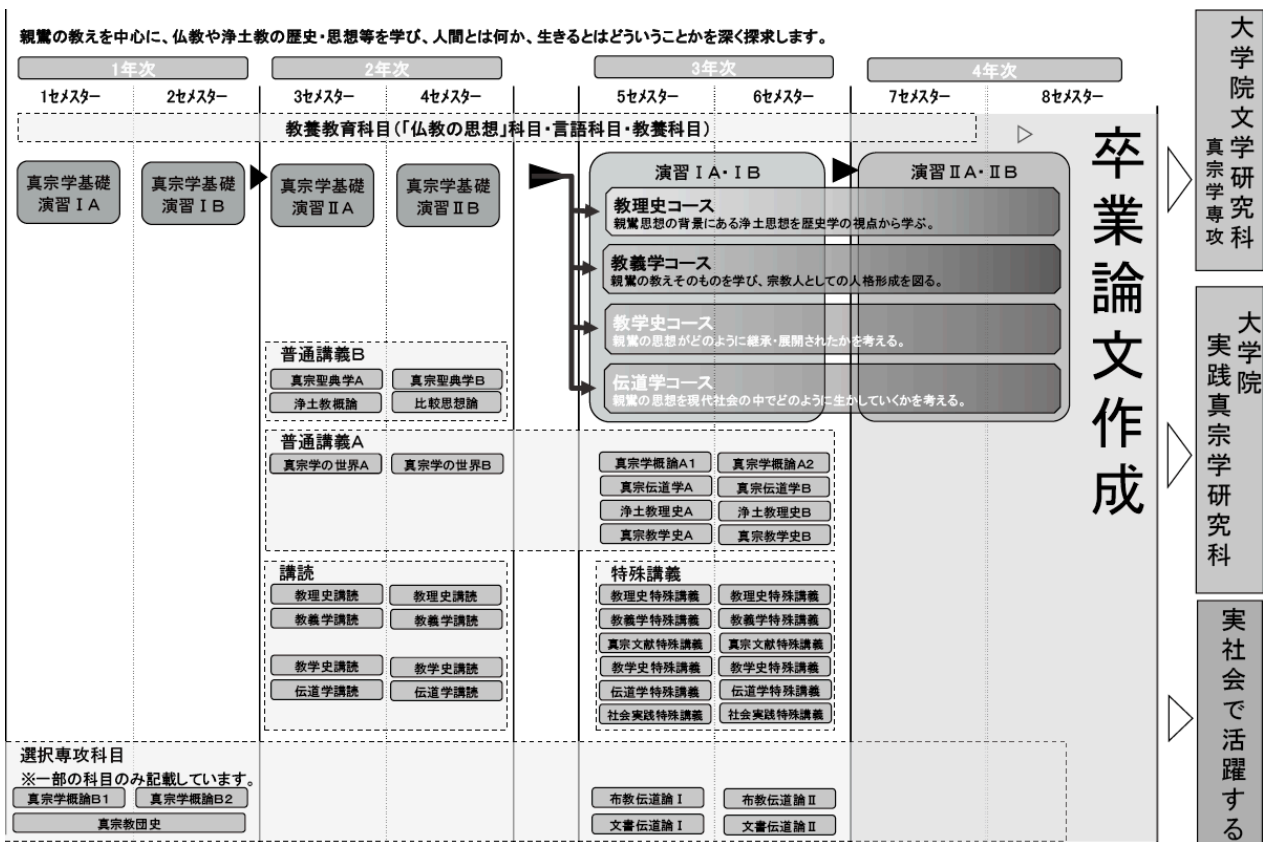
【1】カリキュラムマップ・必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

学科・専攻の教育理念・目的に基づき、専攻科目を開設しています。前ページ記載の「カリキュラム概念図」でも示しているとおり、所属学科・専攻以外の専攻科目（履修できない科目もあります。詳細はこの項目の各学科・専攻の履修上の注意点を参照してください。）も履修できるため、計画的な履修計画を立てる必要があります。

各学科・専攻の開設科目とともにカリキュラムマップも掲載していますので参考にしてください。

☆年度により、開講されない科目があります。開設科目一覧に掲載されていても、時間割表に掲載されていない場合は、その年度は不開講です。また、科目の開講期も変更となる場合もあります。時間割表をよく確認してください。

【真宗学科カリキュラムマップ】



■真宗学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼真宗学科の教育理念・目的

親鸞によって開顕された浄土真宗の教義を、浄土教理史・真宗教義学・真宗教学史・真宗伝道学の4分野にわたって探究し、広い視野に立って真宗教義の真理性を明らかにするとともに、現代社会の諸問題に対応できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといった学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

■「普通講義A」において、規定の単位を超えて履修した単位は、「選択専攻科目」となります。選択する科目グループに関しては、基本的に所属する演習分野と同一の科目を履修してください。

- ・教理史演習 → 浄土教理史A/B
- ・教学史演習 → 真宗教学史A/B
- ・伝道学演習 → 真宗伝道学A/B

※教義学演習は特に履修パターンはないため、①～③の科目グループから選択してください。

■「普通講義B」「特殊講義」「講読」において4単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。

■卒業論文（4単位）は演習ⅡA及び演習ⅡBを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

■普通講義A

「真宗学の世界A・B」「真宗学概論A1・A2」4科目8単位を含む合計12単位必修

※以下の①②③の科目グループから2科目4単位履修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	真宗学の世界A	2	L-01-CIB-2-1-030	300	深草	
4	真宗学の世界B	2	L-01-CIB-2-1-031	300	深草	
5	真宗学概論A1	2	L-01-CIB-3-1-022	400	大宮	
6	真宗学概論A2	2	L-01-CIB-3-1-023	400	大宮	
5	浄土教理史A	2	L-01-CIB-3-1-024	400	大宮	※科目グループ ①
6	浄土教理史B	2	L-01-CIB-3-1-025	400	大宮	
5	真宗教学史A	2	L-01-CIB-3-1-026	400	大宮	※科目グループ ②
6	真宗教学史B	2	L-01-CIB-3-1-027	400	大宮	
5	真宗伝道学A	2	L-01-CIB-3-1-028	400	大宮	※科目グループ ③
6	真宗伝道学B	2	L-01-CIB-3-1-029	400	大宮	

■普通講義B

2科目4単位選択必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	真宗聖典学A	2	L-01-CIB-2-1-032	300	大宮	
4	真宗聖典学B	2	L-01-CIB-2-1-033	300	大宮	
3	浄土教概論	2	L-01-CIB-2-1-034	300	大宮	
4	比較思想論	2	L-01-RES-2-1-035	300	大宮	

■特殊講義

2科目4単位選択必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	教理史特殊講義A1	2	L-01-CIB-3-1-073	400	大宮	
6	教理史特殊講義A2	2	L-01-CIB-3-1-074	400	大宮	

5	教理史特殊講義B1	2	L-01-CIB-3-1-075	400	大宮	
6	教理史特殊講義B2	2	L-01-CIB-3-1-076	400	大宮	
5	教学史特殊講義A1	2	L-01-CIB-3-1-077	400	大宮	
6	教学史特殊講義A2	2	L-01-CIB-3-1-078	400	大宮	
5	教学史特殊講義B1	2	L-01-CIB-3-1-079	400	大宮	
6	教学史特殊講義B2	2	L-01-CIB-3-1-080	400	大宮	
5	教義学特殊講義A1	2	L-01-CIB-3-1-081	400	大宮	
6	教義学特殊講義A2	2	L-01-CIB-3-1-082	400	大宮	
5	教義学特殊講義B1	2	L-01-CIB-3-1-083	400	大宮	
6	教義学特殊講義B2	2	L-01-CIB-3-1-084	400	大宮	
5	真宗文献特殊講義A	2	L-01-CIB-3-1-085	400	大宮	
6	真宗文献特殊講義B	2	L-01-CIB-3-1-086	400	大宮	
5	伝道学特殊講義A1	2	L-01-CIB-3-1-087	400	大宮	
6	伝道学特殊講義A2	2	L-01-CIB-3-1-088	400	大宮	
5	伝道学特殊講義B1	2	L-01-CIB-3-1-089	400	大宮	
6	伝道学特殊講義B2	2	L-01-CIB-3-1-090	400	大宮	
5	社会实践特殊講義A	2	L-01-CIB-3-1-091	400	大宮	
6	社会实践特殊講義B	2	L-01-CIB-3-1-092	400	大宮	

■講読

2科目4単位選択必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	教理史講読A1	2	L-01-CIB-2-1-047	300	深草	
4	教理史講読A2	2	L-01-CIB-2-1-048	300	深草	
3	教理史講読B1	2	L-01-CIB-2-1-049	300	大宮	
4	教理史講読B2	2	L-01-CIB-2-1-050	300	大宮	
3	教理史講読C1	2	L-01-CIB-2-1-051	300	大宮	
4	教理史講読C2	2	L-01-CIB-2-1-052	300	大宮	
3	教学史講読A1	2	L-01-CIB-2-1-053	300	深草	
4	教学史講読A2	2	L-01-CIB-2-1-054	300	深草	
3	教学史講読B1	2	L-01-CIB-2-1-055	300	大宮	
4	教学史講読B2	2	L-01-CIB-2-1-056	300	大宮	
3	教義学講読A1	2	L-01-CIB-2-1-057	300	深草	
4	教義学講読A2	2	L-01-CIB-2-1-058	300	深草	
3	教義学講読B1	2	L-01-CIB-2-1-059	300	大宮	
4	教義学講読B2	2	L-01-CIB-2-1-060	300	大宮	

3	教義学講読C1	2	L-01-CIB-2-1-061	300	大宮	
4	教義学講読C2	2	L-01-CIB-2-1-062	300	大宮	
3	教義学講読D1	2	L-01-CIB-2-1-063	300	大宮	
4	教義学講読D2	2	L-01-CIB-2-1-064	300	大宮	
3	教義学講読E1	2	L-01-CIB-2-1-065	300	深草	
4	教義学講読E2	2	L-01-CIB-2-1-066	300	深草	
3	伝道学講読A1	2	L-01-CIB-2-1-067	300	深草	
4	伝道学講読A2	2	L-01-CIB-2-1-068	300	深草	
3	伝道学講読B1	2	L-01-CIB-2-1-069	300	大宮	
4	伝道学講読B2	2	L-01-CIB-2-1-070	300	大宮	
3	伝道学講読C1	2	L-01-CIB-2-1-071	300	大宮	
4	伝道学講読C2	2	L-01-CIB-2-1-072	300	大宮	

■基礎演習

4科目8単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	真宗学基礎演習ⅠA	2	L-01-SEM-1-1-002	100	深草	
2	真宗学基礎演習ⅠB	2	L-01-SEM-1-1-003	200	深草	
3	真宗学基礎演習ⅡA	2	L-01-SEM-2-1-004	300	深草	
4	真宗学基礎演習ⅡB	2	L-01-SEM-2-1-005	300	深草	

■演習Ⅰ

2科目4単位選択必修

同一分野（教理史、教学史、教義学、伝道学）でⅠA・ⅠBを履修すること

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	教理史演習ⅠA	2	L-01-SEM-3-1-006	400	大宮	
6	教理史演習ⅠB	2	L-01-SEM-3-1-007	400	大宮	
5	教学史演習ⅠA	2	L-01-SEM-3-1-008	400	大宮	
6	教学史演習ⅠB	2	L-01-SEM-3-1-009	400	大宮	
5	教義学演習ⅠA	2	L-01-SEM-3-1-010	400	大宮	
6	教義学演習ⅠB	2	L-01-SEM-3-1-011	400	大宮	
5	伝道学演習ⅠA	2	L-01-SEM-3-1-012	400	大宮	
6	伝道学演習ⅠB	2	L-01-SEM-3-1-013	400	大宮	

■演習Ⅱ、卒業論文

卒業論文4単位及び、同一分野の演習ⅡA・ⅡB（教理史、教学史、教義学、伝道学）の4単位、合計8単位必修

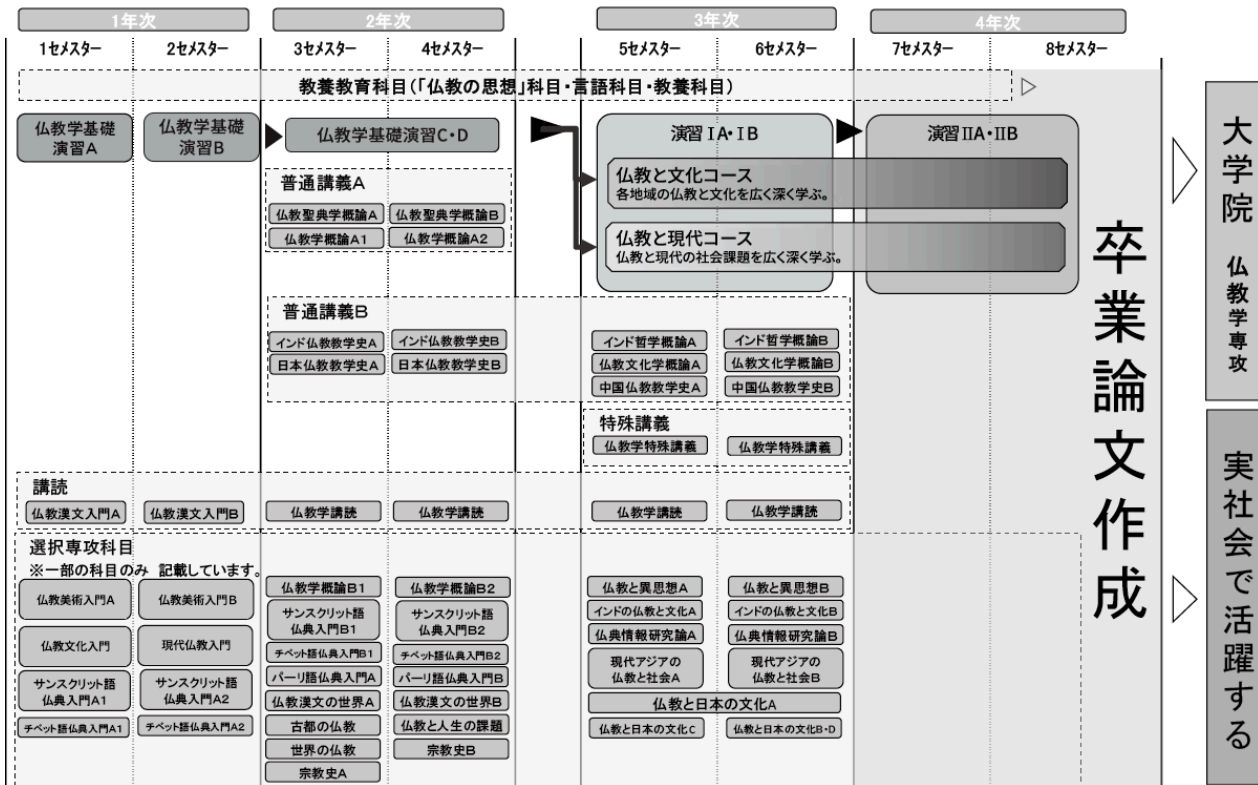
配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
------	-----	----	----------	------	------	----

7	教理史演習ⅡA	2	L-01-SEM-4-1-014	500	大宮	
8	教理史演習ⅡB	2	L-01-SEM-4-1-015	500	大宮	
7	教学史演習ⅡA	2	L-01-SEM-4-1-016	500	大宮	
8	教学史演習ⅡB	2	L-01-SEM-4-1-017	500	大宮	
7	教義学演習ⅡA	2	L-01-SEM-4-1-018	500	大宮	
8	教義学演習ⅡB	2	L-01-SEM-4-1-019	500	大宮	
7	伝道学演習ⅡA	2	L-01-SEM-4-1-020	500	大宮	
8	伝道学演習ⅡB	2	L-01-SEM-4-1-021	500	大宮	
7・8	卒業論文	4	L-12-THE-4-1-001	500	大宮	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【仏教学科カリキュラムマップ】

2500年の時を超え世界に広まった仏教を、思想面から追究するとともに、本物の資料をとおしてさらに理解を深めます。



■仏教学科 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼仏教学科の教育理念・目的

インド・中国・日本等の諸地域に及ぶ仏教の多様な展開を「仏教と文化」「仏教と現代」の2つの視座から学ぶことによって専門的知識の修得と論理的洞察力の涵養を図り、現代社会の諸問題に対応できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといった学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

- 「普通講義B」「特殊講義」「講読」において4単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。
- 「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。
- 仏教学基礎演習C/Dはクラスにより履修登録を行う順番が異なります。時間割表で登録する科目を確認してください。
- 卒業論文（4単位）は演習ⅡA及び演習ⅡBを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

■普通講義A

4科目8単位必修

相当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	仏教聖典学概論A	2	L-02-CIB-2-1-145	300	大宮	
4	仏教聖典学概論B	2	L-02-CIB-2-1-146	300	大宮	
3	仏教学概論A1	2	L-02-CIB-2-1-143	300	大宮	
4	仏教学概論A2	2	L-02-CIB-2-1-144	300	大宮	

■普通講義B

2科目4単位選択必修

相当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	インド仏教教学史A	2	L-02-CIB-2-1-151	300	深草	
4	インド仏教教学史B	2	L-02-CIB-2-1-152	300	深草	
3	日本仏教教学史A	2	L-02-CIB-2-1-155	300	深草	
4	日本仏教教学史B	2	L-02-CIB-2-1-156	300	深草	
5	インド哲学概論A	2	L-02-CIB-3-1-147	400	大宮	
6	インド哲学概論B	2	L-02-CIB-3-1-148	400	大宮	
5	仏教文化学概論A	2	L-02-CIB-3-1-149	400	大宮	
6	仏教文化学概論B	2	L-02-CIB-3-1-150	400	大宮	
5	中国仏教教学史A	2	L-02-CIB-3-1-153	400	大宮	
6	中国仏教教学史B	2	L-02-CIB-3-1-154	400	大宮	

■特殊講義

2科目4単位選択必修

相当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	仏教学特殊講義A1	2	L-02-CIB-3-1-123	400	大宮	
6	仏教学特殊講義A2	2	L-02-CIB-3-1-124	400	大宮	
5	仏教学特殊講義B1	2	L-02-CIB-3-1-125	400	大宮	
6	仏教学特殊講義B2	2	L-02-CIB-3-1-126	400	大宮	
5	仏教学特殊講義C1	2	L-02-CIB-3-1-127	400	大宮	
6	仏教学特殊講義C2	2	L-02-CIB-3-1-128	400	大宮	

5	仏教学特殊講義D1	2	L-02-CIB-3-1-129	400	大宮	
6	仏教学特殊講義D2	2	L-02-CIB-3-1-130	400	大宮	
5	仏教学特殊講義E1	2	L-02-CIB-3-1-131	400	大宮	
6	仏教学特殊講義E2	2	L-02-CIB-3-1-132	400	大宮	
5	仏教学特殊講義F1	2	L-02-CIB-3-1-133	400	大宮	
6	仏教学特殊講義F2	2	L-02-CIB-3-1-134	400	大宮	
5	仏教学特殊講義G1	2	L-02-CIB-3-1-135	400	大宮	
6	仏教学特殊講義G2	2	L-02-CIB-3-1-136	400	大宮	
5	仏教学特殊講義H1	2	L-02-CIB-3-1-137	400	大宮	
6	仏教学特殊講義H2	2	L-02-CIB-3-1-138	400	大宮	
5	仏教学特殊講義I1	2	L-02-CIB-3-1-139	400	大宮	
6	仏教学特殊講義I2	2	L-02-CIB-3-1-140	400	大宮	
5	仏教学特殊講義J1	2	L-02-CIB-3-1-141	400	大宮	
6	仏教学特殊講義J2	2	L-02-CIB-3-1-142	400	大宮	

■講読

「仏教漢文入門A」「仏教漢文入門B」4単位と講読科目の中から4単位選択必修の合計8単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	仏教漢文入門A	2	L-02-CIB-1-1-188	100	深草	
2	仏教漢文入門B	2	L-02-CIB-1-1-189	200	深草	
3	仏教学講読A1	2	L-02-CIB-2-1-105	300	大宮	
4	仏教学講読A2	2	L-02-CIB-2-1-106	300	大宮	
3	仏教学講読B1	2	L-02-CIB-2-1-107	300	大宮	
4	仏教学講読B2	2	L-02-CIB-2-1-108	300	大宮	
3	仏教学講読C1	2	L-02-CIB-2-1-109	300	大宮	
4	仏教学講読C2	2	L-02-CIB-2-1-110	300	大宮	
3	仏教学講読D1	2	L-02-CIB-2-1-111	300	大宮	
4	仏教学講読D2	2	L-02-CIB-2-1-112	300	大宮	
3	仏教学講読F1	2	L-02-CIB-2-1-115	300	大宮	
4	仏教学講読F2	2	L-02-CIB-2-1-116	300	大宮	
3	仏教学講読G1	2	L-02-CIB-2-1-117	300	大宮	
4	仏教学講読G2	2	L-02-CIB-2-1-118	300	大宮	
3	仏教学講読H1	2	L-02-CIB-2-1-119	300	大宮	
4	仏教学講読H2	2	L-02-CIB-2-1-120	300	大宮	
5	仏教学講読E1	2	L-02-CIB-3-1-113	600	大宮	
6	仏教学講読E2	2	L-02-CIB-3-1-114	600	大宮	

5	仏教学講読I1	2	L-02-CIB-3-1-121	600	大宮	
6	仏教学講読I2	2	L-02-CIB-3-1-122	600	大宮	

■基礎演習

4科目8単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	仏教学基礎演習A	2	L-02-SEM-1-1-097	100	深草	
2	仏教学基礎演習B	2	L-02-SEM-1-1-098	200	深草	
3	仏教学基礎演習C	2	L-02-SEM-2-1-099	300	深草	クラスにより登録の順番が異なる
3	仏教学基礎演習D	2	L-02-SEM-2-1-100	300	深草	

■演習 I

2科目4単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	仏教学演習 I A	2	L-02-SEM-3-1-101	400	大宮	
6	仏教学演習 I B	2	L-02-SEM-3-1-102	400	大宮	

■演習 II、卒業論文

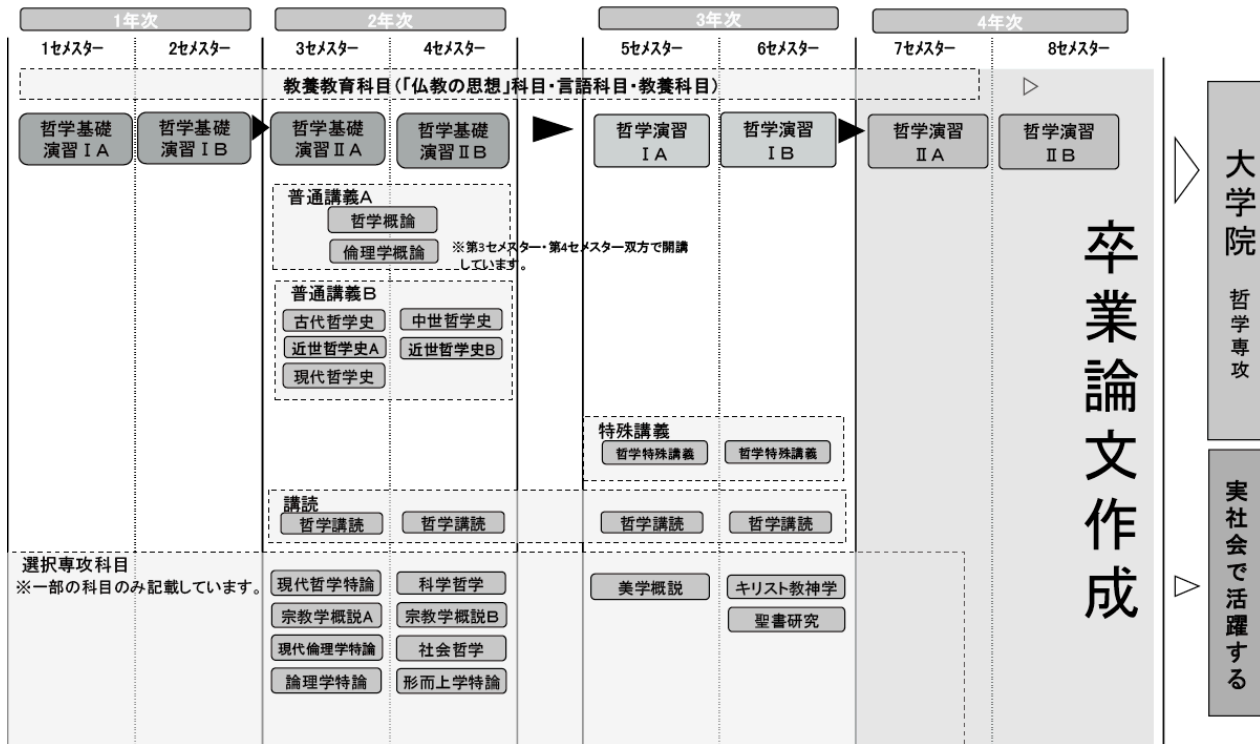
3科目8単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
7	仏教学演習 II A	2	L-02-SEM-4-1-103	500	大宮	
8	仏教学演習 II B	2	L-02-SEM-4-1-104	500	大宮	
7・8	卒業論文	4	L-12-THE-4-1-001	500	大宮	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【哲学科哲学専攻カリキュラムマップ】

あらゆる偏見・独断・権威を捨てて思想のライブに身を渡し、知の迷宮をさまよいながら、論理的思考力と表現力を身につけます。



■哲学専攻 必修専攻科目 科目区別 開設科目一覧

▼哲学専攻の教育理念・目的

哲学の歴史を深く学び、他者との対話によってあらゆる物事の本質を考えるとともに、現代の諸科学や社会の動向をも吟味しつつ、哲学的・倫理的・宗教的諸問題の解決に寄与する、論理的洞察力に富んだ人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

- 特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。
- 課題の探求から発見、追究を経て解決へといった学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

- 「普通講義A」「普通講義B」「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。
- 「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返し履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。
- 卒業論文（4単位）は演習II A及び演習II Bを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

■普通講義A

2科目4単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	哲学概論	2	L-03-PHE-2-1-223	300	大宮	第2学期（後期）にも開講
3	倫理学概論	2	L-03-PHE-2-1-224	300	大宮	第2学期（後期）にも開講

■普通講義B

4科目8単位選択必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	古代哲学史	2	L-03-HIT-2-1-225	300	大宮	
4	中世哲学史	2	L-03-HIT-2-1-226	300	大宮	
3	近世哲学史A	2	L-03-HIT-2-1-227	300	大宮	
4	近世哲学史B	2	L-03-HIT-2-1-228	300	大宮	
3	現代哲学史	2	L-03-HIT-2-1-229	400	大宮	年度によって開講期の変更あり

■特殊講義

3科目6単位選択必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	哲学特殊講義(A)A	2	L-03-PHE-3-1-213	600	大宮	
6	哲学特殊講義(A)B	2	L-03-PHE-3-1-218	600	大宮	
5	哲学特殊講義(B)A	2	L-03-PHE-3-1-214	600	大宮	
6	哲学特殊講義(B)B	2	L-03-PHE-3-1-219	600	大宮	
5	哲学特殊講義(C)A	2	L-03-PHE-3-1-215	600	大宮	
6	哲学特殊講義(C)B	2	L-03-PHE-3-1-220	600	大宮	
5	哲学特殊講義(D)A	2	L-03-PHE-3-1-216	400	大宮	
6	哲学特殊講義(D)B	2	L-03-PHE-3-1-221	400	大宮	
5	哲学特殊講義(E)A	2	L-03-PHE-3-1-217	400	大宮	
6	哲学特殊講義(E)B	2	L-03-PHE-3-1-222	400	大宮	

■講読

5科目10単位選択必修

年次指定《2年次のみ》4単位修得した上で《3年次以上》履修可能な講読6単位の修得が望ましいが、年次指定が《2年次のみ》の「講読」を修得できなかった場合は、年次指定《3年次以上》の科目を修得し、合計10単位修得しなければなりません。

なお、《2年次のみ》の講読は、4単位まで講読分野の卒業要件単位とし、4単位を超えて修得した場合は選択専攻科目とする。

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	哲学講読G1	2	L-03-PHE-2-1-245	300	深草	2年次のみ
4	哲学講読G2	2	L-03-PHE-2-1-246	300	深草	2年次のみ
3	哲学講読H1	2	L-03-PHE-2-1-247	300	深草	2年次のみ
4	哲学講読H2	2	L-03-PHE-2-1-248	300	深草	2年次のみ
3	哲学講読I1	2	L-03-PHE-2-1-249	300	深草	2年次のみ
4	哲学講読I2	2	L-03-PHE-2-1-250	300	深草	2年次のみ
5	哲学講読A1	2	L-03-PHE-3-1-199	400	大宮	
6	哲学講読A2	2	L-03-PHE-3-1-200	400	大宮	
5	哲学講読B1	2	L-03-PHE-3-1-201	400	大宮	

6	哲学講読B2	2	L-03-PHE-3-1-202	400	大宮	
5	哲学講読C1	2	L-03-PHE-3-1-203	400	大宮	
6	哲学講読C2	2	L-03-PHE-3-1-204	400	大宮	
5	哲学講読D1	2	L-03-PHE-3-1-205	400	大宮	
6	哲学講読D2	2	L-03-PHE-3-1-206	400	大宮	
5	哲学講読E1	2	L-03-PHE-3-1-207	400	大宮	
6	哲学講読E2	2	L-03-PHE-3-1-208	400	大宮	
5	哲学講読F1	2	L-03-PHE-3-1-209	400	大宮	
6	哲学講読F2	2	L-03-PHE-3-1-210	400	大宮	
5	哲学講読J1	2	L-03-PHE-3-1-211	400	大宮	
6	哲学講読J2	2	L-03-PHE-3-1-212	400	大宮	

■基礎演習

4科目8単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	哲学基礎演習ⅠA	2	L-03-SEM-1-1-191	100	深草	
2	哲学基礎演習ⅠB	2	L-03-SEM-1-1-192	200	深草	
3	哲学基礎演習ⅡA	2	L-03-SEM-2-1-193	300	深草	
4	哲学基礎演習ⅡB	2	L-03-SEM-2-1-194	300	深草	

■演習Ⅰ

2科目4単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	哲学演習ⅠA	2	L-03-SEM-3-1-195	400	大宮	
6	哲学演習ⅠB	2	L-03-SEM-3-1-196	400	大宮	

■演習Ⅱ、卒業論文

3科目8単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
7	哲学演習ⅡA	2	L-03-SEM-4-1-197	500	大宮	
8	哲学演習ⅡB	2	L-03-SEM-4-1-198	500	大宮	
7・8	卒業論文	4	L-12-THE-4-1-001	500	大宮	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【哲学科教育学専攻カリキュラムマップ】

教育のあり方や教育と社会・文化の関係、心理学などについて、これまでの知見を重んじつつ時代に応じた見識と実践力を養います。

1年次		2年次		3年次		4年次	
1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester
教養教育科目(「仏教の思想」科目・言語科目・教養科目)							
教育学基礎演習ⅠA	教育学基礎演習ⅠB	教育学基礎演習ⅡA	教育学基礎演習ⅡB	教育学演習ⅠA	教育学演習ⅠB	教育学演習ⅡA	教育学演習ⅡB
普通講義A 教育学概論	人間科学概論	教育社会学概論	教育制度論	特殊講義 教育学特殊講義	教育学特殊講義		
		普通講義B 教育史(西洋) 教育史(日本) 比較教育学 教育心理学 生涯学習概論	教育とジェンダー 異文化間教育学 社会教育論				
		講読 教育学講読	教育学講読	教育学講読	教育学講読		
選択専攻科目 教育情報処理演習	※一部の科目のみ記載しています。			教育行政学A 学習心理学	教育行政学B 認知心理学		
		幼児教育学 発達心理学 教育哲学		社会調査統計法 (半期開講) ※開講期は時間割を確認してください			
		環境教育学 共生教育学 教育メディア論 (半期開講) ※開講期は時間割を確認してください					

大学院
教育学専攻

卒業論文作成

実社会で活躍する

■哲学科教育学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼哲学科教育学専攻の教育理念・目的

深い人間理解に基づいて、教育の本質・方法や社会・文化との関係、個人の発達・成長・学習などについての基本的な考え方・見識を養い、人間本来の生き方や発達のメカニズムなどを追究して、生涯学習社会における実践的課題に応えられる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

- 特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。
- 課題の探求から発見、追究を経て解決へといった学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

- 「普通講義B」「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。
- 「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。
- 卒業論文(4単位)は演習ⅡA及び演習ⅡBを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。
- 「教育学講読」は同一セメスターにおける登録の上限は2単位までとします。
- 先修制が設定されている科目については以下を確認してください。

先修制

■普通講義A

4科目8単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレイド	開講学舎	備考
1	教育学概論	2	L-04-EDU-1-1-263	100	深草	

2	人間科学概論	2	L-04-EDP-1-1-304	100	深草	
3	教育社会学概論	2	L-04-SOE-2-1-294	200	深草	
4	教育制度論	2	L-04-SOE-2-1-321	300	深草	

■普通講義B

4科目8単位選択必修

先修制が設定されている科目については以下を確認すること

先修制

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	教育心理学	2	L-04-EDP-2-1-296	200	大宮	先修制あり
3	教育史（西洋）	2	L-04-EDU-2-1-314	300	大宮	
3	教育史（日本）	2	L-04-EDU-2-1-317	300	大宮	
3	比較教育学	2	L-04-SOE-2-1-319	300	大宮	
3	生涯学習概論	2	L-04-EDU-2-1-312	300	大宮	
4	教育とジェンダー	2	L-04-EDU-2-1-318	300	大宮	
4	異文化間教育学	2	L-04-EDU-2-1-320	300	大宮	
4	社会教育論	2	L-04-EDU-2-1-313	300	大宮	

■特殊講義

2科目4単位選択必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	教育学特殊講義（A）A	2	L-04-EDU-3-1-272	500	大宮	
6	教育学特殊講義（A）B	2	L-04-EDU-3-1-273	500	大宮	
5	教育学特殊講義（B）A	2	L-04-EDU-3-1-274	500	大宮	
6	教育学特殊講義（B）B	2	L-04-EDU-3-1-275	500	大宮	
5	教育学特殊講義（C）A	2	L-04-EDU-3-1-276	500	大宮	
6	教育学特殊講義（C）B	2	L-04-EDU-3-1-277	500	大宮	
5	教育学特殊講義（D）A	2	L-04-EDU-3-1-278	500	大宮	
6	教育学特殊講義（D）B	2	L-04-EDU-3-1-279	500	大宮	
5	教育学特殊講義（E）A	2	L-04-EDU-3-1-280	500	大宮	
6	教育学特殊講義（E）B	2	L-04-EDU-3-1-281	500	大宮	
5	教育学特殊講義（F）A	2	L-04-EDU-3-1-282	500	大宮	
6	教育学特殊講義（F）B	2	L-04-EDU-3-1-283	500	大宮	
5	教育学特殊講義（G）A	2	L-04-EDU-3-1-284	500	大宮	
6	教育学特殊講義（G）B	2	L-04-EDU-3-1-285	500	大宮	
5	教育学特殊講義（H）A	2	L-04-EDU-3-1-286	500	大宮	
6	教育学特殊講義（H）B	2	L-04-EDU-3-1-287	500	大宮	

5	教育学特殊講義 (I) A	2	L-04-EDU-3-1-288	500	大宮	
6	教育学特殊講義 (I) B	2	L-04-EDU-3-1-289	500	大宮	
5	教育学特殊講義 (K) A	2	L-04-EDU-3-1-290	500	大宮	
6	教育学特殊講義 (K) B	2	L-04-EDU-3-1-291	500	大宮	

■講読

1・2それぞれから1科目2単位（計2科目4単位）選択必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	教育学講読C1	2	L-04-EDU-2-1-268	300	深草	
4	教育学講読C2	2	L-04-EDU-2-1-269	300	深草	
3	教育学講読D2	2	L-04-EDU-2-1-271	300	深草	
4	教育学講読D1	2	L-04-EDU-2-1-270	300	深草	
5	教育学講読A1	2	L-04-EDU-3-1-264	400	大宮	
6	教育学講読A2	2	L-04-EDU-3-1-265	400	大宮	
5	教育学講読B2	2	L-04-EDU-3-1-267	400	大宮	
6	教育学講読B1	2	L-04-EDU-3-1-266	400	大宮	

■基礎演習

4科目8単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	教育学基礎演習ⅠA	2	L-04-SEM-1-1-251	100	深草	
2	教育学基礎演習ⅠB	2	L-04-SEM-1-1-252	200	深草	
3	教育学基礎演習ⅡA	2	L-04-SEM-2-1-253	300	深草	
4	教育学基礎演習ⅡB	2	L-04-SEM-2-1-254	300	深草	

■演習Ⅰ

2科目4単位選択必修

同一分野（教育学・教育心理学）でⅠA・ⅠBを履修すること

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	教育学演習ⅠA	2	L-04-SEM-3-1-259	400	大宮	
6	教育学演習ⅠB	2	L-04-SEM-3-1-260	400	大宮	
5	教育心理学演習ⅠA	2	L-04-SEM-3-1-255	400	大宮	
6	教育心理学演習ⅠB	2	L-04-SEM-3-1-256	400	大宮	

■演習Ⅱ、卒業論文

卒業論文4単位及び、同一分野の演習ⅡA・ⅡB（教育学、教育心理学）4単位、合計8単位必修

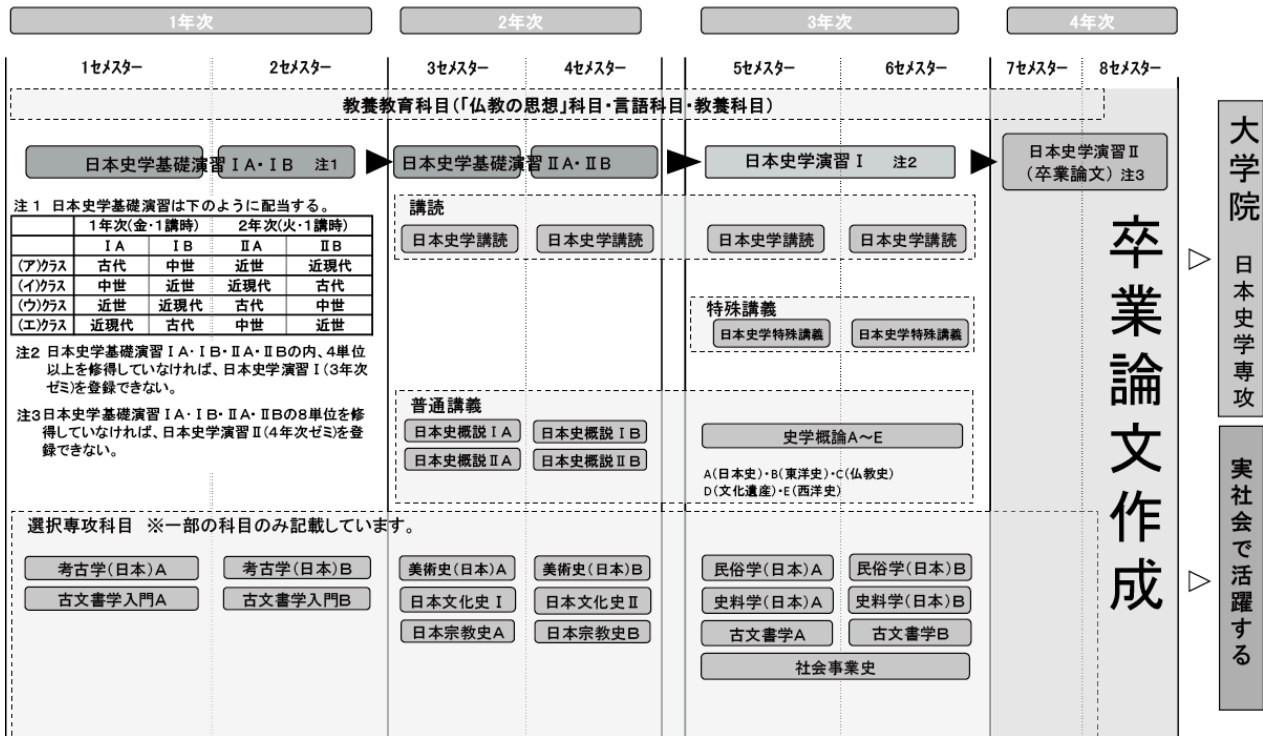
担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
------	-----	----	----------	------	------	----

7	教育学演習ⅡA	2	L-04-SEM-4-1-261	500	大宮	
8	教育学演習ⅡB	2	L-04-SEM-4-1-262	500	大宮	
7	教育心理学演習ⅡA	2	L-04-SEM-3-1-257	500	大宮	
8	教育心理学演習ⅡB	2	L-04-SEM-3-1-258	500	大宮	
7・8	卒業論文	4	L-12-THE-4-1-001	500	大宮	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【歴史学科日本史学専攻カリキュラムマップ】

通説に疑問を持ち、独自の見方・考え方で歴史的事実を解明し、現代社会の問題感や自分の生き方を明らかにします。



■歴史学科日本史学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼歴史学科日本史学専攻の教育理念・目的

日本史の各時代・領域に関する教育・研究を通して、専門知識・技能を修得し、併せて批判的精神と確かな歴史認識をもった歴史的主体として、現代社会に貢献できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといった学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

■「普通講義」のうち史学概論A~Eを2科目4単位を超えて修得した単位、または「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。

■卒業論文(4単位)は演習ⅡA及び演習ⅡBを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

■先修制が設定されている科目については以下を確認してください。

先修制

■普通講義

「日本史概説ⅠA」「日本史概説ⅠB」「日本史概説ⅡA」「日本史概説ⅡB」の8単位、史学概論A～Eのうち2科目4単位の計12単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	日本史概説ⅠA	2	L-05-JPH-2-1-360	300	大宮	
4	日本史概説ⅠB	2	L-05-JPH-2-1-361	300	大宮	
3	日本史概説ⅡA	2	L-05-JPH-2-1-362	300	大宮	
4	日本史概説ⅡB	2	L-05-JPH-2-1-363	300	大宮	
5	史学概論A	2	L-09-HSG-3-1-327	400	大宮	年度によって開講期の変更あり
5	史学概論B	2	L-09-HSG-3-1-328	400	大宮	
5	史学概論C	2	L-09-HSG-3-1-329	400	大宮	
5	史学概論D	2	L-09-HSG-3-1-330	400	大宮	
5	史学概論E	2	L-09-HSG-3-1-331	400	大宮	

■特殊講義

2科目4単位選択必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	日本史学特殊講義 (A) A	2	L-05-JPH-3-1-338	600	大宮	
6	日本史学特殊講義 (A) B	2	L-05-JPH-3-1-339	600	大宮	
5	日本史学特殊講義 (B) A	2	L-05-JPH-3-1-340	600	大宮	
6	日本史学特殊講義 (B) B	2	L-05-JPH-3-1-341	600	大宮	
5	日本史学特殊講義 (C) A	2	L-05-JPH-3-1-342	600	大宮	
6	日本史学特殊講義 (C) B	2	L-05-JPH-3-1-343	600	大宮	
5	日本史学特殊講義 (D) A	2	L-05-JPH-3-1-344	600	大宮	
6	日本史学特殊講義 (D) B	2	L-05-JPH-3-1-345	600	大宮	
5	日本史学特殊講義 (E) A	2	L-05-JPH-3-1-346	600	大宮	
6	日本史学特殊講義 (E) B	2	L-05-JPH-3-1-347	600	大宮	
5	日本史学特殊講義 (F) A	2	L-05-JPH-3-1-348	600	大宮	
6	日本史学特殊講義 (F) B	2	L-05-JPH-3-1-349	600	大宮	
5	日本史学特殊講義 (G) A	2	L-05-JPH-3-1-350	600	大宮	
6	日本史学特殊講義 (G) B	2	L-05-JPH-3-1-351	600	大宮	
5	日本史学特殊講義 (H) A	2	L-05-JPH-3-1-352	600	大宮	
6	日本史学特殊講義 (H) B	2	L-05-JPH-3-1-353	600	大宮	
5	日本史学特殊講義 (I) A	2	L-05-JPH-3-1-354	600	大宮	
6	日本史学特殊講義 (I) B	2	L-05-JPH-3-1-355	600	大宮	

5	日本史学特殊講義 (J) A	2	L-05-JPH-3-1-356	600	大宮	
6	日本史学特殊講義 (J) B	2	L-05-JPH-3-1-357	600	大宮	
5	日本史学特殊講義 (K) A	2	L-05-JPH-3-1-358	600	大宮	
6	日本史学特殊講義 (K) B	2	L-05-JPH-3-1-359	600	大宮	

■講読

4科目8単位選択必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	日本史学講読F1	2	L-05-JPH-2-1-374	300	深草	
4	日本史学講読F2	2	L-05-JPH-2-1-375	300	深草	
3	日本史学講読G1	2	L-05-JPH-2-1-376	300	深草	
4	日本史学講読G2	2	L-05-JPH-2-1-377	300	深草	
5	日本史学講読A1	2	L-05-JPH-3-1-364	600	大宮	
6	日本史学講読A2	2	L-05-JPH-3-1-365	600	大宮	
5	日本史学講読B1	2	L-05-JPH-3-1-366	600	大宮	
6	日本史学講読B2	2	L-05-JPH-3-1-367	600	大宮	
5	日本史学講読C1	2	L-05-JPH-3-1-368	600	大宮	
6	日本史学講読C2	2	L-05-JPH-3-1-369	600	大宮	
5	日本史学講読D1	2	L-05-JPH-3-1-370	600	大宮	
6	日本史学講読D2	2	L-05-JPH-3-1-371	600	大宮	
5	日本史学講読E1	2	L-05-JPH-3-1-372	400	大宮	
6	日本史学講読E2	2	L-05-JPH-3-1-373	400	大宮	
5	日本史学講読H1	2	L-05-JPH-3-1-378	400	大宮	
6	日本史学講読H2	2	L-05-JPH-3-1-379	400	大宮	

■基礎演習

4科目8単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	日本史学基礎演習ⅠA	2	L-05-SEM-1-1-332	200	深草	
2	日本史学基礎演習ⅠB	2	L-05-SEM-1-1-333	200	深草	
3	日本史学基礎演習ⅡA	2	L-05-SEM-2-1-334	300	深草	
4	日本史学基礎演習ⅡB	2	L-05-SEM-2-1-335	300	深草	

■演習Ⅰ

1科目4単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5・6	日本史学演習Ⅰ	4	L-05-SEM-3-1-336	400	大宮	先修制あり

■演習Ⅱ、卒業論文

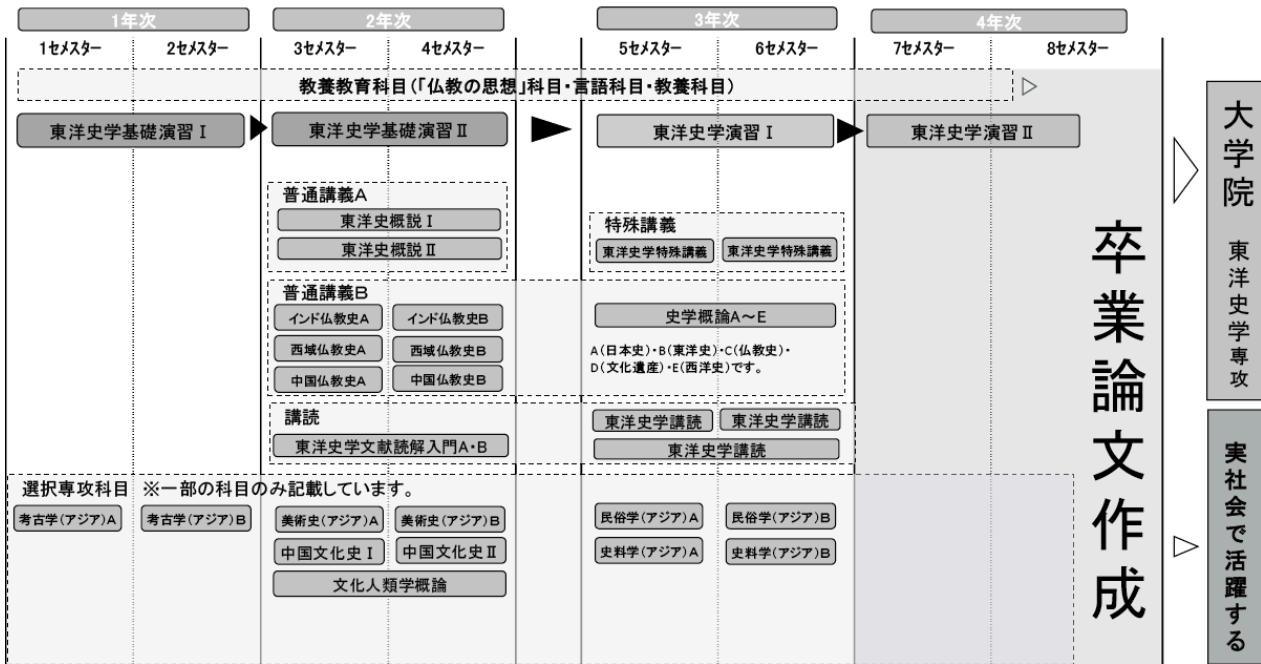
2科目8単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
7・8	日本史学演習Ⅱ	4	L-05-SEM-4-1-337	500	大宮	先修制あり
7・8	卒業論文	4	L-12-THE-4-1-001	500	大宮	先修制あり

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【歴史学科東洋史学専攻カリキュラムマップ】

漢字文化圏やイスラーム文化圏の諸言語を習得しながら、広大なアジア全体の歴史・文化を学び、研究を深めます。



■歴史学科東洋史学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼歴史学科東洋史学専攻の教育理念・目的

中国をはじめ、アジア諸地域の歴史・文化・宗教・言語に関する専門的な知識と技能を修得し、明確な歴史認識をもち、広い視野に立ってアジア全体を深く洞察できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといった学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

- 「普通講義B」「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。
- 「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読 (A)」を修得した次年度に「講読 (A)」を再度履修登録することができます。
- 卒業論文 (4単位) は演習ⅡA及び演習ⅡBを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

■普通講義 A

2科目8単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3・4	東洋史概説Ⅰ	4	L-06-HAA-2-1-407	300	大宮	
3・4	東洋史概説Ⅱ	4	L-06-HAA-2-1-408	300	大宮	

■普通講義B

2科目4単位選択必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	インド仏教史A	2	L-07-CIB-2-1-460	300	大宮	
4	インド仏教史B	2	L-07-CIB-2-1-461	300	大宮	
3	西域仏教史A	2	L-07-CIB-2-1-462	300	大宮	
4	西域仏教史B	2	L-07-CIB-2-1-463	300	大宮	
3	中国仏教史A	2	L-07-CIB-2-1-464	300	大宮	
4	中国仏教史B	2	L-07-CIB-2-1-465	300	大宮	
5	史学概論A	2	L-09-HSG-3-1-327	400	大宮	年度によって開講期の変更あり
5	史学概論B	2	L-09-HSG-3-1-328	400	大宮	
5	史学概論C	2	L-09-HSG-3-1-329	400	大宮	
5	史学概論D	2	L-09-HSG-3-1-330	400	大宮	
5	史学概論E	2	L-09-HSG-3-1-331	400	大宮	

■特殊講義

2科目4単位選択必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	東洋史学特殊講義 (A) A	2	L-06-HAA-3-1-423	600	大宮	
6	東洋史学特殊講義 (A) B	2	L-06-HAA-3-1-424	600	大宮	
5	東洋史学特殊講義 (B) A	2	L-06-HAA-3-1-411	600	大宮	
6	東洋史学特殊講義 (B) B	2	L-06-HAA-3-1-417	600	大宮	
5	東洋史学特殊講義 (C) A	2	L-06-HAA-3-1-412	600	大宮	
6	東洋史学特殊講義 (C) B	2	L-06-HAA-3-1-418	600	大宮	
5	東洋史学特殊講義 (D) A	2	L-06-HAA-3-1-413	600	大宮	
6	東洋史学特殊講義 (D) B	2	L-06-HAA-3-1-419	600	大宮	
5	東洋史学特殊講義 (E) A	2	L-06-HAA-3-1-414	600	大宮	
6	東洋史学特殊講義 (E) B	2	L-06-HAA-3-1-420	600	大宮	
5	東洋史学特殊講義 (F) A	2	L-06-HAA-3-1-415	600	大宮	
6	東洋史学特殊講義 (F) B	2	L-06-HAA-3-1-421	600	大宮	
5	東洋史学特殊講義 (G) A	2	L-06-HAA-3-1-409	600	大宮	
6	東洋史学特殊講義 (G) B	2	L-06-HAA-3-1-410	600	大宮	

5	東洋史学特殊講義 (H) A	2	L-06-HAA-3-1-416	600	大宮	
6	東洋史学特殊講義 (H) B	2	L-06-HAA-3-1-422	600	大宮	

■講読

「東洋史学文献読解入門A」「東洋史学文献読解入門B」4単位と【3年次以上配当】の講読科目の中から4単位選択必修の合計8単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	東洋史学文献読解入門A	2	L-06-HAA-2-1-450	300	深草	
4	東洋史学文献読解入門B	2	L-06-HAA-2-1-451	300	深草	
5・6	東洋史学講読 (A)	4	L-06-HAA-3-1-425	400	大宮	
5・6	東洋史学講読 (B)	4	L-06-HAA-3-1-426	400	大宮	
5	東洋史学講読 (C) A	2	L-06-HAA-3-1-428	600	大宮	
6	東洋史学講読 (C) B	2	L-06-HAA-3-1-430	600	大宮	
5	東洋史学講読 (D) A	2	L-06-HAA-3-1-429	400	大宮	
6	東洋史学講読 (D) B	2	L-06-HAA-3-1-431	400	大宮	
5	東洋史学講読 (E) A	2	L-06-HAA-3-1-434	600	大宮	
6	東洋史学講読 (E) B	2	L-06-HAA-3-1-435	600	大宮	
5・6	東洋史学講読 (H)	4	L-06-HAA-3-1-427	400	大宮	
5	東洋史学講読 (I) A	2	L-06-HAA-3-1-432	400	大宮	
6	東洋史学講読 (I) B	2	L-06-HAA-3-1-433	400	大宮	

■基礎演習

2科目8単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1・2	東洋史学基礎演習Ⅰ	4	L-06-SEM-1-1-403	200	深草	
3・4	東洋史学基礎演習Ⅱ	4	L-06-SEM-2-1-404	300	深草	

■演習Ⅰ

1科目4単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5・6	東洋史学演習Ⅰ	4	L-06-SEM-3-1-405	400	大宮	

■演習Ⅱ、卒業論文

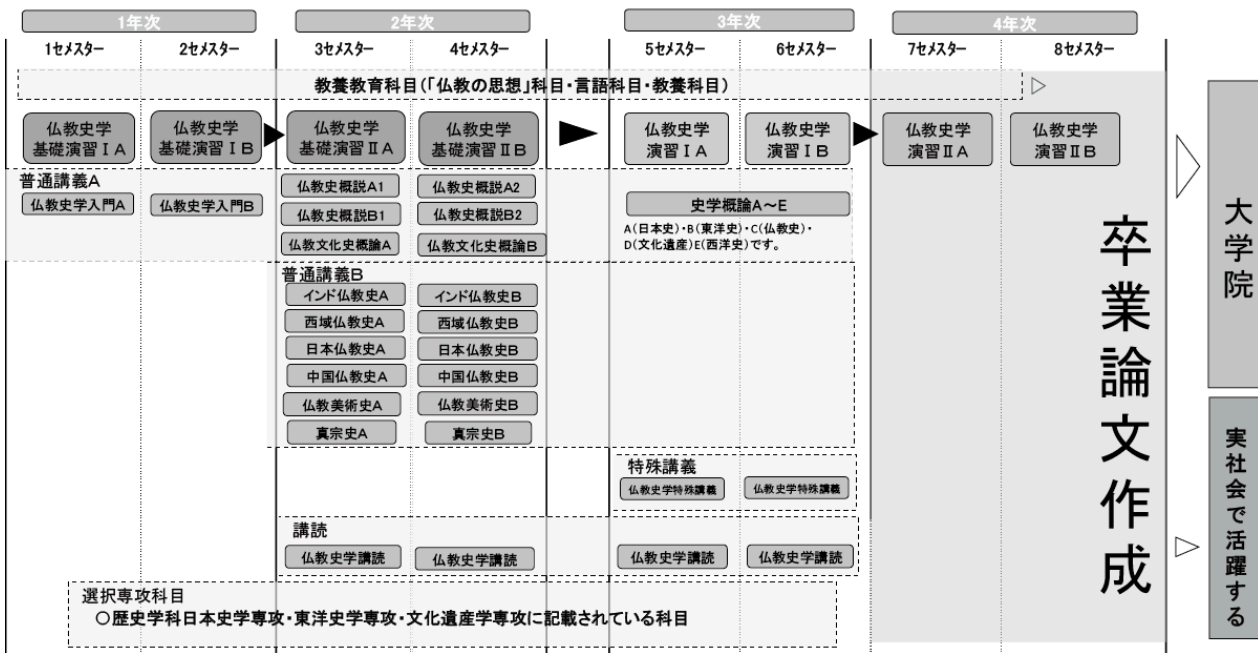
2科目8単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
7・8	東洋史学演習Ⅱ	4	L-06-SEM-4-1-406	500	大宮	
7・8	卒業論文	4	L-12-THE-4-1-001	500	大宮	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【歴史学科仏教史学専攻カリキュラムマップ】

私たちの精神の根底にある「仏教」の歴史を知ることによって「人間とは？」「仏教とは？」という本質的な問いを探究します。



■歴史学科仏教史学専攻 必修専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼歴史学科仏教史学専攻の教育理念・目的

歴史的な視点に立って、仏教が、それぞれの時代・地域の中でどのように受け入れられ展開してきたのかを考察することにより、歴史的主体として現代社会に貢献できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

- 特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。
- 課題の探求から発見、追究を経て解決へといたる学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する

《履修上の注意点》

- 「普通講義A」のうち仏教史学入門A・B(合計4単位)以外で、規定の単位を超えて修得した単位は、「選択専攻科目」となります。
- 「普通講義B」「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。
- 「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。
- 卒業論文(4単位)は演習ⅡA及び演習ⅡBを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

■普通講義A

「仏教史学入門A」「仏教史学入門B」4単位と「仏教史学入門」4単位を除く普通講義Aの中から4単位選択必修の合計8単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	仏教史学入門A	2	L-07-CIB-1-1-500	100	深草	
2	仏教史学入門B	2	L-07-CIB-1-1-501	200	深草	
3	仏教史概説A1	2	L-07-CIB-2-1-502	300	大宮	

4	仏教史概説A2	2	L-07-CIB-2-1-503	300	大宮	
3	仏教史概説B1	2	L-07-CIB-2-1-504	300	大宮	
4	仏教史概説B2	2	L-07-CIB-2-1-505	300	大宮	
3	仏教文化史概論A	2	L-07-CIB-2-1-498	300	大宮	
4	仏教文化史概論B	2	L-07-CIB-2-1-499	300	大宮	
5	史学概論A	2	L-09-HSG-3-1-327	400	大宮	年度によって開講期の変更あり
5	史学概論B	2	L-09-HSG-3-1-328	400	大宮	
5	史学概論C	2	L-09-HSG-3-1-329	400	大宮	
5	史学概論D	2	L-09-HSG-3-1-330	400	大宮	
5	史学概論E	2	L-09-HSG-3-1-331	400	大宮	

■普通講義B

4科目8単位選択必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	インド仏教史A	2	L-07-CIB-2-1-460	300	大宮	
4	インド仏教史B	2	L-07-CIB-2-1-461	300	大宮	
3	西域仏教史A	2	L-07-CIB-2-1-462	300	大宮	
4	西域仏教史B	2	L-07-CIB-2-1-463	300	大宮	
3	中国仏教史A	2	L-07-CIB-2-1-464	300	大宮	
4	中国仏教史B	2	L-07-CIB-2-1-465	300	大宮	
3	日本仏教史A1	2	L-07-CIB-2-1-506	300	大宮	
4	日本仏教史A2	2	L-07-CIB-2-1-507	300	大宮	
3	日本仏教史B1	2	L-07-CIB-2-1-508	300	大宮	
4	日本仏教史B2	2	L-07-CIB-2-1-509	300	大宮	
3	仏教美術史A	2	L-07-FAH-2-1-496	300	大宮	
4	仏教美術史B	2	L-07-FAH-2-1-497	300	大宮	
3	真宗史A	2	L-07-CIB-2-1-494	300	大宮	
4	真宗史B	2	L-07-CIB-2-1-495	300	大宮	

■特殊講義

2科目4単位選択必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	仏教史学特殊講義A1	2	L-07-CIB-3-1-476	400	大宮	
6	仏教史学特殊講義A2	2	L-07-CIB-3-1-477	400	大宮	
5	仏教史学特殊講義B1	2	L-07-CIB-3-1-478	400	大宮	
6	仏教史学特殊講義B2	2	L-07-CIB-3-1-479	400	大宮	

5	仏教史学特殊講義C1	2	L-07-CIB-3-1-480	600	大宮	
6	仏教史学特殊講義C2	2	L-07-CIB-3-1-481	600	大宮	
5	仏教史学特殊講義D1	2	L-07-CIB-3-1-482	400	大宮	
6	仏教史学特殊講義D2	2	L-07-CIB-3-1-483	400	大宮	
5	仏教史学特殊講義E1	2	L-07-CIB-3-1-484	600	大宮	
6	仏教史学特殊講義E2	2	L-07-CIB-3-1-485	600	大宮	
5	仏教史学特殊講義F1	2	L-07-CIB-3-1-486	400	大宮	
6	仏教史学特殊講義F2	2	L-07-CIB-3-1-487	400	大宮	
5	仏教史学特殊講義G1	2	L-07-CIB-3-1-488	400	大宮	
6	仏教史学特殊講義G2	2	L-07-CIB-3-1-489	400	大宮	
5	仏教史学特殊講義H1	2	L-07-CIB-3-1-490	400	大宮	
6	仏教史学特殊講義H2	2	L-07-CIB-3-1-491	400	大宮	
5	仏教史学特殊講義I1	2	L-07-CIB-3-1-492	400	大宮	
6	仏教史学特殊講義I2	2	L-07-CIB-3-1-493	400	大宮	

■講読

年次指定≪2年次のみ≫4単位及び≪3年次以上≫履修可能な講読4単位の合計8単位必修

年次指定が≪2年次のみ≫の講読を修得できなかった場合は、年次指定≪3年次以上≫の科目で修得しなければなりません

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	仏教史学講読F1	2	L-07-CIB-2-1-510	300	深草	2年次のみ
4	仏教史学講読F2	2	L-07-CIB-2-1-511	300	深草	2年次のみ
3	仏教史学講読G1	2	L-07-CIB-2-1-512	300	深草	2年次のみ
4	仏教史学講読G2	2	L-07-CIB-2-1-513	300	深草	2年次のみ
3	仏教史学講読H1	2	L-07-CIB-2-1-514	300	深草	2年次のみ
4	仏教史学講読H2	2	L-07-CIB-2-1-515	300	深草	2年次のみ
5	仏教史学講読A1	2	L-07-CIB-3-1-466	600	大宮	
6	仏教史学講読A2	2	L-07-CIB-3-1-467	600	大宮	
5	仏教史学講読B1	2	L-07-CIB-3-1-468	600	大宮	
6	仏教史学講読B2	2	L-07-CIB-3-1-469	600	大宮	
5	仏教史学講読C1	2	L-07-CIB-3-1-470	400	大宮	
6	仏教史学講読C2	2	L-07-CIB-3-1-471	400	大宮	
5	仏教史学講読D1	2	L-07-CIB-3-1-472	400	大宮	
6	仏教史学講読D2	2	L-07-CIB-3-1-473	400	大宮	
5	仏教史学講読E1	2	L-07-CIB-3-1-474	400	大宮	
6	仏教史学講読E2	2	L-07-CIB-3-1-475	400	大宮	

■基礎演習

4科目8単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	仏教史学基礎演習ⅠA	2	L-07-SEM-1-1-452	200	深草	クラスによって登録の順番が異なる
1	仏教史学基礎演習ⅠB	2	L-07-SEM-1-1-453	200	深草	
3	仏教史学基礎演習ⅡA	2	L-07-SEM-2-1-454	300	深草	クラスによって登録の順番が異なる
3	仏教史学基礎演習ⅡB	2	L-07-SEM-2-1-455	300	深草	

■演習Ⅰ

2科目4単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	仏教史学演習ⅠA	2	L-07-SEM-3-1-456	400	大宮	
6	仏教史学演習ⅠB	2	L-07-SEM-3-1-457	400	大宮	

■演習Ⅱ、卒業論文

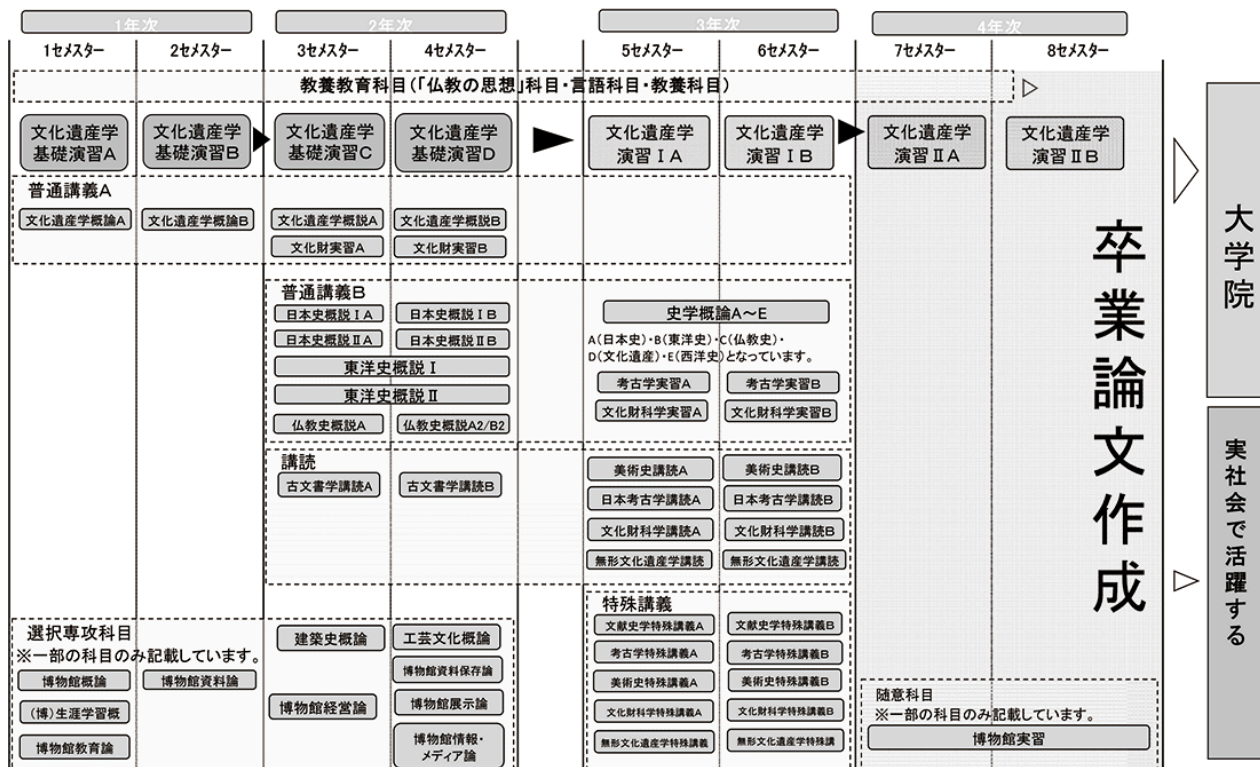
3科目8単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
7	仏教史学演習ⅡA	2	L-07-SEM-4-1-458	500	大宮	
8	仏教史学演習ⅡB	2	L-07-SEM-4-1-459	500	大宮	
7・8	卒業論文	4	L-12-THE-4-1-001	500	大宮	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【歴史学科文化遺産学専攻カリキュラムマップ】

現代まで引き継がれてきた歴史遺産を分析・研究し、将来に残して活用する技術と方法を実践的に習得します。



■歴史学科文化遺産学専攻 専攻科目 科目区分別 開設科目一覧

▼歴史学科文化遺産学専攻の教育理念・目的

文化遺産の歴史的意義を考え、将来へと守り伝えるための方法と技法を習得し、地域の文化的媒体として活用できる人材を育成する。あわせて、文化財の調査・研究、その保存と活用を行うための専門教育を通して、仏教美術・寺院建築・仏教儀礼等に向き合い、「建学の精神」を体現した自主的判断能力を持つ感受性の豊かな専門家を育成する。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

○特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。

○課題の探求から発見、追究を経て解決へといった学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

■「普通講義B」「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。

■卒業論文（4単位）は演習ⅡA及び演習ⅡBを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

■普通講義A

6科目10単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	文化遺産学概論A	2	L-08-CAS-1-1-526	100	深草	
2	文化遺産学概論B	2	L-08-CAS-1-1-527	200	深草	
3	文化遺産学概説A	2	L-08-CAS-2-1-810	300	深草	
4	文化遺産学概説B	2	L-08-CAS-2-1-811	300	深草	
3	文化財実習A	1	L-08-CAS-2-1-814	300	大宮	
4	文化財実習B	1	L-08-CAS-2-1-815	300	大宮	

■普通講義B

8単位選択必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	日本史概説ⅠA	2	L-05-JPH-2-1-360	300	大宮	
4	日本史概説ⅠB	2	L-05-JPH-2-1-361	300	大宮	
3	日本史概説ⅡA	2	L-05-JPH-2-1-362	300	大宮	
4	日本史概説ⅡB	2	L-05-JPH-2-1-363	300	大宮	
3・4	東洋史概説Ⅰ	4	L-06-HAA-2-1-407	300	大宮	
3・4	東洋史概説Ⅱ	4	L-06-HAA-2-1-408	300	大宮	
3	仏教史概説A1	2	L-07-CIB-2-1-502	300	大宮	
4	仏教史概説A2	2	L-07-CIB-2-1-503	300	大宮	
3	仏教史概説B1	2	L-07-CIB-2-1-504	300	大宮	

4	仏教史概説B2	2	L-07-CIB-2-1-505	300	大宮	
5	史学概論A	2	L-09-HSG-3-1-327	400	大宮	年度によって開講期の変更あり
5	史学概論B	2	L-09-HSG-3-1-328	400	大宮	
5	史学概論C	2	L-09-HSG-3-1-329	400	大宮	
5	史学概論D	2	L-09-HSG-3-1-330	400	大宮	
5	史学概論E	2	L-09-HSG-3-1-331	400	大宮	
5	文化財科学実習A	1	L-08-CAS-3-1-816	400	大宮	
6	文化財科学実習B	1	L-08-CAS-3-1-817	400	大宮	
5	考古学実習A	1	L-08-ARC-3-1-812	400	大宮	
6	考古学実習B	1	L-08-ARC-3-1-813	400	大宮	

■特殊講義

2科目4単位選択必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	文献史学特殊講義A	2	L-08-HSG-3-1-537	400	大宮	
6	文献史学特殊講義B	2	L-08-HSG-3-1-538	400	大宮	
5	考古学特殊講義A	2	L-08-ARC-3-1-539	400	大宮	
6	考古学特殊講義B	2	L-08-ARC-3-1-540	400	大宮	
5	美術史特殊講義A	2	L-08-FAH-3-1-541	400	大宮	
6	美術史特殊講義B	2	L-08-FAH-3-1-542	400	大宮	
5	文化財科学特殊講義A	2	L-08-CAS-3-1-543	400	大宮	
6	文化財科学特殊講義B	2	L-08-CAS-3-1-544	400	大宮	
5	無形文化遺産学特殊講義A	2	L-08-FAH-3-1-822	400	大宮	
6	無形文化遺産学特殊講義B	2	L-08-FAH-3-1-823	400	大宮	

■講読

2科目4単位選択必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	古文書学講読A	2	L-08-HSG-2-1-529	300	深草	
4	古文書学講読B	2	L-08-HSG-2-1-530	300	深草	
5	日本考古学講読A	2	L-08-ARC-3-1-533	400	大宮	
6	日本考古学講読B	2	L-08-ARC-3-1-534	400	大宮	
5	文化財科学講読A	2	L-08-CAS-3-1-535	400	大宮	
6	文化財科学講読B	2	L-08-CAS-3-1-536	400	大宮	
5	美術史講読A	2	L-08-FAH-3-1-818	400	大宮	
6	美術史講読B	2	L-08-FAH-3-1-819	400	大宮	

5	無形文化遺産学講読A	2	L-08-FAH-3-1-820	400	大宮	
6	無形文化遺産学講読B	2	L-08-FAH-3-1-821	400	大宮	

■基礎演習

4科目8単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	文化遺産学基礎演習A	2	L-08-SEM-1-1-516	200	深草	
2	文化遺産学基礎演習B	2	L-08-SEM-1-1-517	200	深草	
3	文化遺産学基礎演習C	2	L-08-SEM-2-1-518	300	深草	
4	文化遺産学基礎演習D	2	L-08-SEM-2-1-519	300	深草	

■演習Ⅰ

2科目4単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	文化遺産学演習ⅠA	2	L-08-SEM-3-1-520	400	大宮	
6	文化遺産学演習ⅠB	2	L-08-SEM-3-1-521	400	大宮	

■演習Ⅱ、卒業論文

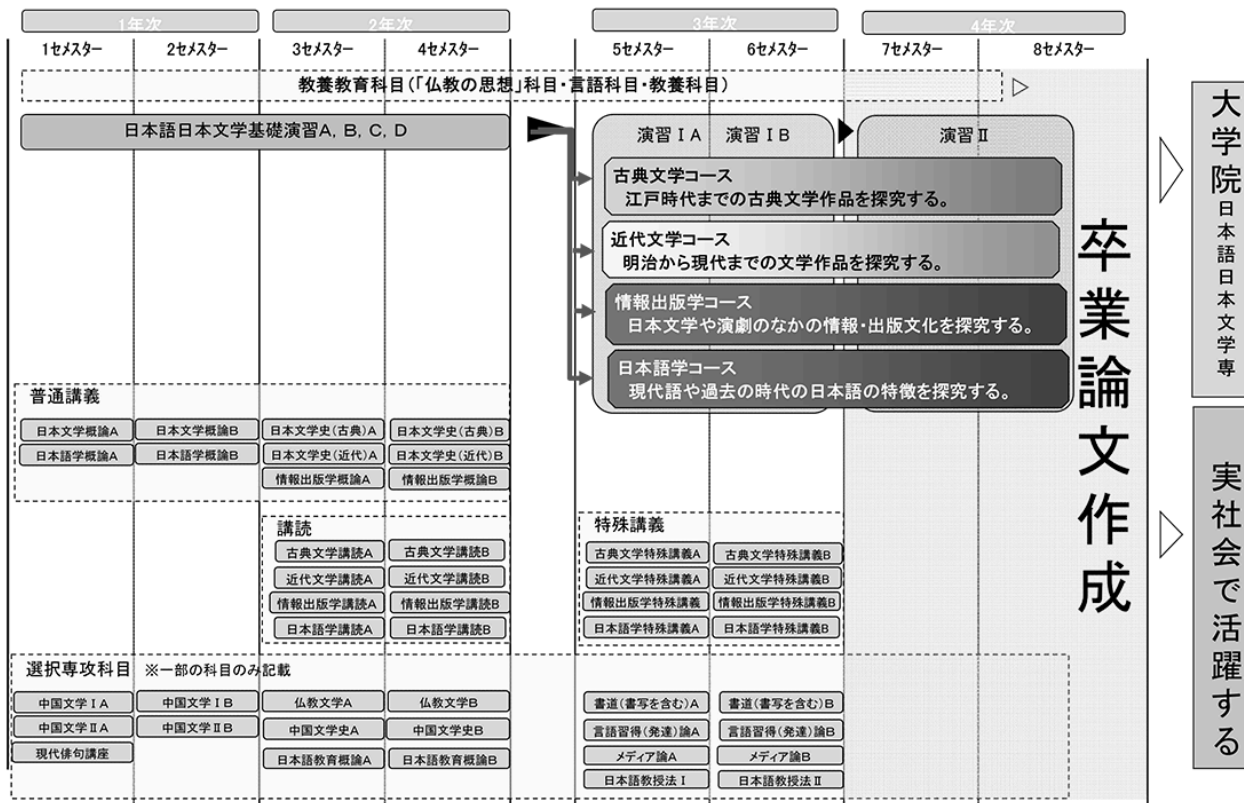
3科目8単位必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
7	文化遺産学演習ⅡA	2	L-08-SEM-4-1-522	500	大宮	
8	文化遺産学演習ⅡB	2	L-08-SEM-4-1-523	500	大宮	
7・8	卒業論文	4	L-12-THE-4-1-001	500	大宮	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【日本語日本文学科カリキュラムマップ】

豊富な古典籍、貴重な資料に囲まれ日本の「言語文化」を学び、日本語・日本文学や情報出版文化の過去・現在・未来を考えます。



■日本語日文学科 必修専攻科目 科目区別別 開設科目一覧

▼日本語日文学科の教育理念・目的

日本語の正しい理解力、日本の言語文化に関する専門的読解力、論理的思考力、および表現力を修得し、「ことば」によって成り立つ社会の持続的発展に主体的に貢献できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

- 特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。
- 課題の探求から発見、追究を経て解決へといった学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

- 「普通講義」「特殊講義」「講読」において4単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。
- 「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返し履修登録することができます。例えば、「講読A (A)」を修得した次年度に「講読A (A)」を再度履修登録することができます。
- 日本語日文学基礎演習A～Dはクラスにより履修登録を行う順番が異なります。時間割表で登録する科目を確認してください。
- 卒業論文 (4単位) は演習IIを同時に登録または単位修得済みでないで登録できません。

■普通講義

6科目12単位選択必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	日本文学概論A	2	L-10-JLT-1-1-574	100	深草	
2	日本文学概論B	2	L-10-JLT-1-1-575	200	深草	
1	日本語学概論A	2	L-10-JLN-1-1-580	100	深草	

2	日本語学概論B	2	L-10-JLN-1-1-581	200	深草	
3	日本文学史（古典）A	2	L-10-JLT-2-1-576	300	大宮	
4	日本文学史（古典）B	2	L-10-JLT-2-1-577	300	大宮	
3	日本文学史（近代）A	2	L-10-JLT-2-1-578	300	大宮	
4	日本文学史（近代）B	2	L-10-JLT-2-1-579	300	大宮	
3	情報出版学概論A	2	L-10-JLT-2-1-582	300	大宮	
4	情報出版学概論B	2	L-10-JLT-2-1-583	300	大宮	

■特殊講義

2科目4単位選択必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	古典文学特殊講義（A）A	2	L-10-JLT-3-1-610	600	大宮	
6	古典文学特殊講義（A）B	2	L-10-JLT-3-1-611	600	大宮	
5	古典文学特殊講義（B）A	2	L-10-JLT-3-1-612	600	大宮	
6	古典文学特殊講義（B）B	2	L-10-JLT-3-1-613	600	大宮	
5	古典文学特殊講義（C）A	2	L-10-JLT-3-1-614	400	大宮	
6	古典文学特殊講義（C）B	2	L-10-JLT-3-1-616	400	大宮	
5	古典文学特殊講義（D）A	2	L-10-JLT-3-1-617	400	大宮	
6	古典文学特殊講義（D）B	2	L-10-JLT-3-1-618	400	大宮	
5	古典文学特殊講義（E）A	2	L-10-JLT-3-1-615	600	大宮	
6	古典文学特殊講義（E）B	2	L-10-JLT-3-1-622	600	大宮	
5	古典文学特殊講義（F）A	2	L-10-JLT-3-1-619	600	大宮	
6	古典文学特殊講義（F）B	2	L-10-JLT-3-1-620	600	大宮	
5	近代文学特殊講義（A）A	2	L-10-JLT-3-1-621	400	大宮	
6	近代文学特殊講義（A）B	2	L-10-JLT-3-1-625	400	大宮	
5	近代文学特殊講義（B）A	2	L-10-JLT-3-1-623	400	大宮	
6	近代文学特殊講義（B）B	2	L-10-JLT-3-1-624	400	大宮	
5	近代文学特殊講義（C）A	2	L-10-JLT-3-1-626	400	大宮	
6	近代文学特殊講義（C）B	2	L-10-JLT-3-1-627	400	大宮	
3	情報出版学特殊講義（A）A	2	L-10-JLT-3-1-628	300	大宮	
4	情報出版学特殊講義（A）B	2	L-10-JLT-3-1-629	300	大宮	
5	情報出版学特殊講義（B）A	2	L-10-JLT-3-1-630	400	大宮	
6	情報出版学特殊講義（B）B	2	L-10-JLT-3-1-631	400	大宮	
5	情報出版学特殊講義（C）A	2	L-10-JLT-3-1-632	600	大宮	
6	情報出版学特殊講義（C）B	2	L-10-JLT-3-1-633	600	大宮	
5	情報出版学特殊講義（D）A	2	L-10-JLT-3-1-634	400	大宮	

6	情報出版学特殊講義 (D) B	2	L-10-JLT-3-1-635	400	大宮	
5	日本語学特殊講義 (A) A	2	L-10-JLN-3-1-638	400	大宮	
6	日本語学特殊講義 (A) B	2	L-10-JLN-3-1-639	400	大宮	
5	日本語学特殊講義 (B) A	2	L-10-JLN-3-1-640	400	大宮	
6	日本語学特殊講義 (B) B	2	L-10-JLN-3-1-641	400	大宮	
5	日本語学特殊講義 (C) A	2	L-10-JLN-3-1-636	600	大宮	
6	日本語学特殊講義 (C) B	2	L-10-JLN-3-1-637	600	大宮	
5	日本語学特殊講義 (D) A	2	L-10-JLN-3-1-642	400	大宮	
6	日本語学特殊講義 (D) B	2	L-10-JLN-3-1-643	400	大宮	

■講読

4科目8単位選択必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	古典文学講読 (A) A	2	L-10-JLT-2-1-586	300	深草	
4	古典文学講読 (A) B	2	L-10-JLT-2-1-587	300	深草	
3	古典文学講読 (B) A	2	L-10-JLT-2-1-588	300	大宮	
4	古典文学講読 (B) B	2	L-10-JLT-2-1-589	300	大宮	
3	古典文学講読 (C) A	2	L-10-JLT-2-1-590	300	大宮	
4	古典文学講読 (C) B	2	L-10-JLT-2-1-591	300	大宮	
3	古典文学講読 (D) A	2	L-10-JLT-2-1-592	300	大宮	
4	古典文学講読 (D) B	2	L-10-JLT-2-1-593	300	大宮	
3	近代文学講読 (A) A	2	L-10-JLT-2-1-594	300	大宮	
4	近代文学講読 (A) B	2	L-10-JLT-2-1-595	300	大宮	
3	近代文学講読 (B) A	2	L-10-JLT-2-1-596	300	大宮	
4	近代文学講読 (B) B	2	L-10-JLT-2-1-597	300	大宮	
3	近代文学講読 (C) A	2	L-10-JLT-2-1-598	300	深草	
4	近代文学講読 (C) B	2	L-10-JLT-2-1-599	300	深草	
3	情報出版学講読 (A) A	2	L-10-JLT-2-1-600	300	大宮	
4	情報出版学講読 (A) B	2	L-10-JLT-2-1-601	300	大宮	
3	情報出版学講読 (B) A	2	L-10-JLT-2-1-602	300	深草	
4	情報出版学講読 (B) B	2	L-10-JLT-2-1-603	300	深草	
3	情報出版学講読 (C) A	2	L-10-JLT-2-1-604	300	大宮	
4	情報出版学講読 (C) B	2	L-10-JLT-2-1-605	300	大宮	
3	日本語学講読 (A) A	2	L-10-JLN-2-1-606	300	深草	
4	日本語学講読 (A) B	2	L-10-JLN-2-1-607	300	深草	
3	日本語学講読 (B) A	2	L-10-JLN-2-1-608	300	大宮	

4	日本語学講読 (B) B	2	L-10-JLN-2-1-609	300	大宮	
---	--------------	---	------------------	-----	----	--

■基礎演習

4科目8単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	日本語日本文学基礎演習A	2	L-10-SEM-1-1-558	200	深草	クラスによって登録の順番が異なる
1	日本語日本文学基礎演習B	2	L-10-SEM-2-1-559	200	深草	
1	日本語日本文学基礎演習C	2	L-10-SEM-2-1-560	300	深草	
1	日本語日本文学基礎演習D	2	L-10-SEM-1-1-561	300	深草	

■演習 I

2科目4単位選択必修

同一分野（古典文学、近代文学、情報出版学、日本語学）でⅠA・ⅠBを履修すること

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	古典文学演習ⅠA	2	L-10-SEM-3-1-562	400	大宮	
6	古典文学演習ⅠB	2	L-10-SEM-3-1-563	400	大宮	
5	近代文学演習ⅠA	2	L-10-SEM-3-1-564	400	大宮	
6	近代文学演習ⅠB	2	L-10-SEM-3-1-565	400	大宮	
5	情報出版学演習ⅠA	2	L-10-SEM-3-1-566	400	大宮	
6	情報出版学演習ⅠB	2	L-10-SEM-3-1-567	400	大宮	
5	日本語学演習ⅠA	2	L-10-SEM-3-1-568	400	大宮	
6	日本語学演習ⅠB	2	L-10-SEM-3-1-569	400	大宮	

■演習Ⅱ、卒業論文

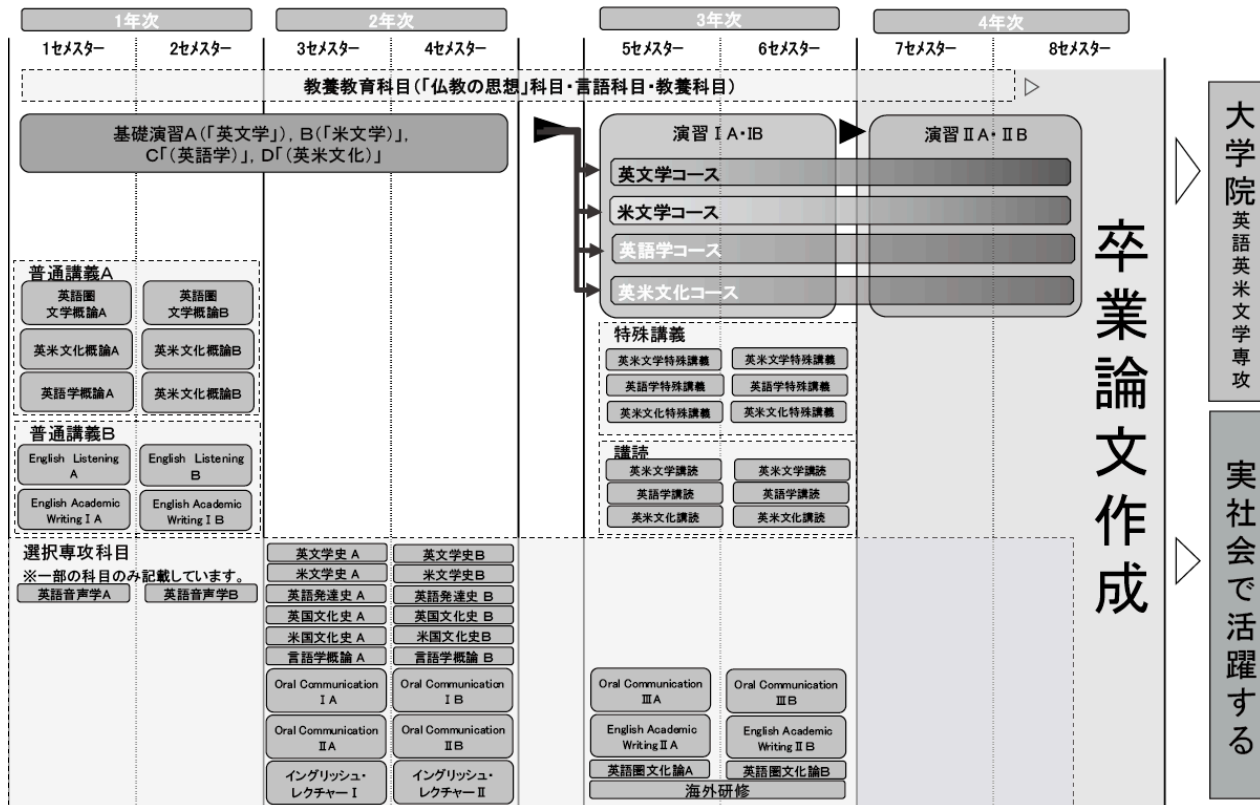
卒業論文4単位及び、同一分野の演習Ⅱ（古典文学、近代文学、情報出版学、日本語学）4単位、合計8単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
7・8	古典文学演習Ⅱ	4	L-10-SEM-4-1-570	500	大宮	
7・8	近代文学演習Ⅱ	4	L-10-SEM-4-1-571	500	大宮	
7・8	情報出版学演習Ⅱ	4	L-10-SEM-4-1-572	500	大宮	
7・8	日本語学演習Ⅱ	4	L-10-SEM-4-1-573	500	大宮	
7・8	卒業論文	4	L-12-THE-4-1-001	500	大宮	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【英語英米文学科カリキュラムマップ】

ネイティブ教員の授業で英語コミュニケーション能力を育成。また、学生の興味に応じて英米文学や文化、言語学などを学びます。



■英語英米文学科 必修専攻科目 科目区別別 開設科目一覽

▼英語英米文学科の教育理念・目的

英国・米国をはじめとする英語圏に関する言語・文学・文化についての知識を修得し、広い視野に立って英語圏地域を深く洞察する能力を身に付け、国際化する現代社会の諸問題に対応できる人間を育成することを目的とする。

▼必修専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針

- 特に、必修である卒業論文を4年間の学修の集大成として位置づけ、それにむけて各学科・専攻のコアとなる科目群を「普通講義」「特殊講義」「講読」「基礎演習」「演習」に分類して年次指定も含めてバランスよく配置し、人文学の各分野の専門領域を体系的に学べるようにする。
- 課題の探求から発見、追究を経て解決へといった学修のプロセスに必要な作法や知識、あるいは研究方法や思考力を養うために、4年間を通じて「演習」科目を必修として開講する。

《履修上の注意点》

- 「普通講義A」「特殊講義」「講読」において規定の単位を超えて修得した単位は「選択専攻科目」となります。
- 「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返し履修登録することができます。例えば、「講読A1」を修得した次年度に「講読A1」を再度履修登録することができます。
- 卒業論文（4単位）は演習II A及び演習II Bを同時に登録または単位修得済みでないと登録できません。

■普通講義 A

4科目8単位選択必修

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	英語圏文学概論A	2	L-11-LIE-1-1-744	100	両学舎	
2	英語圏文学概論B	2	L-11-LIE-1-1-745	200	両学舎	
1	英米文化概論A	2	L-11-CIE-1-1-746	100	両学舎	
2	英米文化概論B	2	L-11-CIE-1-1-747	200	両学舎	

1	英語学概論A	2	L-11-ENL-1-1-748	100	両学舎	
2	英語学概論B	2	L-11-ENL-1-1-749	200	両学舎	

■普通講義B

4科目4単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	English Listening A	1	L-11-ENG-1-1-750	100	深草	
2	English Listening B	1	L-11-ENG-1-1-751	200	深草	
1	English Academic Writing I A	1	L-11-ENG-1-1-752	100	深草	
2	English Academic Writing I B	1	L-11-ENG-1-1-753	200	深草	

■特殊講義

2科目4単位選択必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	英米文学特殊講義 (A) A	2	L-11-LIE-3-1-730	400	大宮	
6	英米文学特殊講義 (A) B	2	L-11-LIE-3-1-734	400	大宮	
5	英米文学特殊講義 (B) A	2	L-11-LIE-3-1-731	600	大宮	
6	英米文学特殊講義 (B) B	2	L-11-LIE-3-1-735	600	大宮	
5	英米文学特殊講義 (C) A	2	L-11-LIE-3-1-732	400	大宮	
6	英米文学特殊講義 (C) B	2	L-11-LIE-3-1-736	400	大宮	
5	英米文学特殊講義 (D) A	2	L-11-LIE-3-1-733	400	大宮	
6	英米文学特殊講義 (D) B	2	L-11-LIE-3-1-737	400	大宮	
5	英米文学特殊講義 (E) A	2	L-11-LIE-3-1-825	400	大宮	
6	英米文学特殊講義 (E) B	2	L-11-LIE-3-1-826	400	大宮	
5	英語学特殊講義 (A) A	2	L-11-ENL-3-1-738	400	大宮	
6	英語学特殊講義 (A) B	2	L-11-ENL-3-1-739	400	大宮	
5	英米文化特殊講義 (A) A	2	L-11-CIE-3-1-740	400	大宮	
6	英米文化特殊講義 (A) B	2	L-11-CIE-3-1-741	400	大宮	
5	英米文化特殊講義 (B) A	2	L-11-CIE-3-1-742	400	大宮	
6	英米文化特殊講義 (B) B	2	L-11-CIE-3-1-743	400	大宮	

■講読

4科目8単位選択必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	英米文学講読 (A) A	2	L-11-LIE-3-1-712	400	大宮	
6	英米文学講読 (A) B	2	L-11-LIE-3-1-713	400	大宮	
5	英米文学講読 (B) A	2	L-11-LIE-3-1-714	400	大宮	

6	英米文学講読 (B) B	2	L-11-LIE-3-1-715	400	大宮	
5	英米文学講読 (C) A	2	L-11-LIE-3-1-716	400	大宮	
6	英米文学講読 (C) B	2	L-11-LIE-3-1-717	400	大宮	
5	英米文学講読 (D) A	2	L-11-LIE-3-1-718	400	大宮	
6	英米文学講読 (D) B	2	L-11-LIE-3-1-719	400	大宮	
5	英米文学講読 (E) A	2	L-11-LIE-3-1-720	400	大宮	
6	英米文学講読 (E) B	2	L-11-LIE-3-1-721	400	大宮	
5	英語学講読 (A) A	2	L-11-ENL-3-1-722	400	大宮	
6	英語学講読 (A) B	2	L-11-ENL-3-1-723	400	大宮	
5	英語学講読 (B) A	2	L-11-ENL-3-1-724	400	大宮	
6	英語学講読 (B) B	2	L-11-ENL-3-1-725	400	大宮	
5	英米文化講読 (A) A	2	L-11-CIE-3-1-726	400	大宮	
6	英米文化講読 (A) B	2	L-11-CIE-3-1-727	400	大宮	
5	英米文化講読 (B) A	2	L-11-CIE-3-1-728	400	大宮	
6	英米文化講読 (B) B	2	L-11-CIE-3-1-729	400	大宮	

■基礎演習

4科目8単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	英語英米文学基礎演習A (英文学)	2	L-11-SEM-1-1-692	200	深草	クラスによって登録の順番が異なる
1	英語英米文学基礎演習B (米文学)	2	L-11-SEM-1-1-693	200	深草	
1	英語英米文学基礎演習C (英語学)	2	L-11-SEM-2-1-694	200	深草	
1	英語英米文学基礎演習D (英米文化)	2	L-11-SEM-2-1-695	200	深草	

■演習 I

2科目4単位選択必修

同一分野 (英文学、米文学、英語学、英米文化) で I A・I B を履修すること

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
5	英文学演習 I A	2	L-11-SEM-3-1-696	400	大宮	
6	英文学演習 I B	2	L-11-SEM-3-1-697	400	大宮	
5	米文学演習 I A	2	L-11-SEM-3-1-698	400	大宮	
6	米文学演習 I B	2	L-11-SEM-3-1-699	400	大宮	
5	英語学演習 I A	2	L-11-SEM-3-1-700	400	大宮	
6	英語学演習 I B	2	L-11-SEM-3-1-701	400	大宮	
5	英米文化演習 I A	2	L-11-SEM-3-1-702	400	大宮	
6	英米文化演習 I B	2	L-11-SEM-3-1-703	400	大宮	

■演習Ⅱ、卒業論文

卒業論文4単位及び、同一分野の演習ⅡA・ⅡB（英文学・米文学・英語学・英米文化）4単位、合計8単位必修

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
7	英文学演習ⅡA	2	L-11-SEM-4-1-704	500	大宮	
8	英文学演習ⅡB	2	L-11-SEM-4-1-705	500	大宮	
7	米文学演習ⅡA	2	L-11-SEM-4-1-706	500	大宮	
8	米文学演習ⅡB	2	L-11-SEM-4-1-707	500	大宮	
7	英語学演習ⅡA	2	L-11-SEM-4-1-708	500	大宮	
8	英語学演習ⅡB	2	L-11-SEM-4-1-709	500	大宮	
7	英米文化演習ⅡA	2	L-11-SEM-4-1-710	500	大宮	
8	英米文化演習ⅡB	2	L-11-SEM-4-1-711	500	大宮	
7・8	卒業論文	4	L-12-THE-4-1-001	500	大宮	

※年度により、開講されない科目、開講期が変更となる科目があります。時間割表をよく確認してください。

【2】選択専攻科目 開設科目一覧

《履修方法》

■以下の表から自由に選択し、24単位以上（哲学科哲学専攻・歴史学科仏教史学専攻は20単位以上、歴史学科文化遺産学専攻は22単位以上）を修得しなければなりません。規定の単位を超えて修得した単位は、「フリーゾーン」の単位として卒業要件単位に含めることができます。

■各学科・専攻ごとに定められた必修専攻科目の規定の単位を満たし、それを超えて修得した必修専攻科目については、選択専攻科目として扱われます。

■「特殊講義」「講読」は、修得済みの場合でも繰り返して履修登録することができます。例えば、講読A1を修得した次年度に講読A1を再度履修登録することができます。

■先修制が設定されている科目については以下を確認してください。

先修制

▼選択専攻科目に関する教育課程編成・実施の方針《抜粋》

○学生の多様な興味・関心を喚起し、学修意欲を促進するために、どの科目を履修するかはすべて学生の選択に任せられている「選択科目」を開講する。

■真宗学科関係科目

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
真宗学科必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読の科目						真宗学科以外の学生
1	真宗学概論B1	2	L-01-CIB-1-1-041	200	深草	
2	真宗学概論B2	2	L-01-CIB-1-1-042	200	深草	
1	音楽史A	2	L-01-ARL-1-1-802	100	深草	
2	音楽史B	2	L-01-ARL-1-1-803	100	深草	
1・2	真宗教団史	4	L-01-CIB-1-1-040	200	深草	

3	こども理解と真宗保育入門Ⅰ	2	L-01-EDU-2-1-043	300	深草	
4	こども理解と真宗保育入門Ⅱ	2	L-01-EDU-2-1-044	300	深草	
3	仏教こども家庭福祉入門	2	L-01-SWS-2-1-045	300	深草	
4	仏教音楽入門	2	L-01-ARL-2-1-046	300	深草	
5	布教伝道論Ⅰ	2	L-01-CIB-3-1-036	400	大宮	
6	布教伝道論Ⅱ	2	L-01-CIB-3-1-037	400	大宮	
5	文書伝道論Ⅰ	2	L-01-CIB-3-1-038	400	大宮	
6	文書伝道論Ⅱ	2	L-01-CIB-3-1-039	400	大宮	

■仏教学科関係科目

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
仏教学科必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読（仏教漢文入門A・Bを除く）の科目						仏教学科以外の学生
1	仏教美術入門A	2	L-02-ASA-1-1-161	100	深草	
2	仏教美術入門B	2	L-02-ASA-1-1-162	100	深草	
1	仏教文化入門	2	L-02-CIB-1-1-163	200	深草	
2	現代仏教入門	2	L-02-CIB-1-1-164	200	深草	
1	サンスクリット語仏典入門A1	2	L-02-CIB-1-1-178	100	深草	
2	サンスクリット語仏典入門A2	2	L-02-CIB-1-1-179	200	深草	先修制あり
1	チベット語仏典入門A1	2	L-02-CIB-1-1-182	100	深草	
2	チベット語仏典入門A2	2	L-02-CIB-1-1-183	200	深草	先修制あり
3	サンスクリット語仏典入門B1	2	L-02-CIB-2-1-180	300	大宮	
4	サンスクリット語仏典入門B2	2	L-02-CIB-2-1-181	300	大宮	先修制あり
3	チベット語仏典入門B1	2	L-02-CIB-2-1-184	300	大宮	
4	チベット語仏典入門B2	2	L-02-CIB-2-1-185	300	大宮	先修制あり
3	パーリ語仏典入門A	2	L-02-CIB-2-1-186	300	大宮	
4	パーリ語仏典入門B	2	L-02-CIB-2-1-187	300	大宮	先修制あり
3	仏教漢文の世界A	2	L-02-CIB-2-1-168	300	深草	
4	仏教漢文の世界B	2	L-02-CIB-2-1-169	300	深草	
3	古都の仏教	2	L-02-CIB-2-1-172	300	深草	
4	仏教と人生の課題	2	L-02-CIB-2-1-173	300	深草	
3	世界の仏教	2	L-02-CIB-2-1-165	300	深草	
3	仏教学概論B1	2	L-02-CIB-2-1-166	300	深草	
4	仏教学概論B2	2	L-02-CIB-2-1-167	300	深草	
3	宗教史A	2	L-03-PHE-2-1-230	300	大宮	
4	宗教史B	2	L-03-PHE-2-1-231	300	大宮	

5	仏教と異思想A	2	L-02-CIB-3-1-170	400	大宮	
6	仏教と異思想B	2	L-02-CIB-3-1-171	400	大宮	
5	インドの仏教と文化A	2	L-02-CIB-3-1-159	400	大宮	
6	インドの仏教と文化B	2	L-02-CIB-3-1-160	400	大宮	
5	仏典情報研究論A	2	L-02-CIB-3-1-804	400	大宮	
6	仏典情報研究論B	2	L-02-CIB-3-1-805	400	大宮	
5	現代アジアの仏教と社会A	2	L-02-CIB-3-1-157	400	大宮	
6	現代アジアの仏教と社会B	2	L-02-CIB-3-1-158	400	大宮	
5・6	仏教と日本の文化A	4	L-02-CIB-3-1-174	400	大宮	
5	仏教と日本の文化C	2	L-02-CIB-3-1-176	400	大宮	
6	仏教と日本の文化B	2	L-02-CIB-3-1-175	400	大宮	
6	仏教と日本の文化D	2	L-02-CIB-3-1-177	400	大宮	

■哲学科哲学専攻関係科目

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
哲学科哲学専攻必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読（3年次以上受講可能な科目のみ）の科目						哲学科哲学専攻以外の学生
1	宗教と倫理	2	L-03-RES-1-1-806	200	キャンパスプラザ京都	
2	宗教と平和	2	L-03-RES-1-1-807	200	キャンパスプラザ京都	
3	宗教学概説A	2	L-03-RES-2-1-237	300	大宮	
4	宗教学概説B	2	L-03-RES-2-1-238	300	大宮	
3	現代倫理学特論	2	L-03-PHE-2-1-241	300	大宮	
4	社会哲学	2	L-03-PHE-2-1-233	300	深草	
3	論理学特論	2	L-03-PHE-2-1-240	300	大宮	
4	形而上学特論	2	L-03-PHE-2-1-243	300	大宮	
3	現代哲学特論	2	L-03-PHE-2-1-239	300	大宮	
4	科学哲学	2	L-03-PHE-2-1-232	300	深草	
5	美学概説	2	L-03-ASA-3-1-234	400	大宮	
6	キリスト教神学	2	L-03-RES-3-1-242	400	大宮	
6	聖書研究	2	L-03-RES-3-1-244	400	大宮	

■哲学科教育学専攻関係科目

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
哲学科教育学専攻必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読の科目						哲学科教育学専攻以外の学生
1・2	現代社会論	4	L-04-SOC-1-1-303	200	深草	

2	心理学史	2	L-04-EDP-1-1-310	200	深草	
3	幼児教育学	2	L-04-EDU-2-1-808	200	大宮	
3	環境教育学	2	L-04-EDU-2-1-323	300	大宮	年度によって開講期の変更あり
3	共生教育学	2	L-04-EDU-2-1-324	300	大宮	年度によって開講期の変更あり
3	教育メディア論	2	L-04-EDU-2-1-325	300	大宮	年度によって開講期の変更あり
3	矯正教育論Ⅰ	2	L-04-CRL-2-1-297	300	深草	
4	矯正教育論Ⅱ	2	L-04-CRL-2-1-298	300	深草	
4	発達心理学	2	L-04-EDP-2-1-300	200	深草	
4	教育哲学	2	L-04-EDU-2-1-315	300	大宮	
5	社会調査統計法	2	L-04-SOE-3-1-322	200	大宮	年度によって開講期の変更あり
5	学習心理学	2	L-04-EDP-3-1-299	400	大宮	先修制あり
5	教育行政学A	2	L-04-EDU-3-1-292	600	大宮	
6	教育行政学B	2	L-04-EDU-3-1-293	600	大宮	
6	教育心理学研究法	2	L-04-EDP-3-1-809	400	大宮	
6	認知心理学	2	L-04-EDP-3-1-301	300	大宮	先修制あり
6	特別支援教育論	2	L-04-SNE-3-1-316	300	大宮	
5・6	社会教育計画	4	L-04-EDU-3-1-309	400	大宮	
5・6	社会教育特講Ⅰ	4	L-04-EDU-3-1-306	400	大宮	
5・6	社会教育特講Ⅱ	4	L-04-EDU-3-1-307	400	大宮	
5・6	社会教育特講Ⅲ	4	L-04-EDU-3-1-308	400	大宮	

■歴史学科関係科目

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
歴史学科日本史学専攻必修専攻科目：普通講義、特殊講義、講読の科目						歴史学科日本史学専攻以外の学生
歴史学科東洋史学専攻必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読（3年次以上受講可能な科目のみ）の科目						歴史学科東洋史学専攻以外の学生
歴史学科仏教史学専攻必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読（3年次以上受講可能な科目のみ）の科目						歴史学科仏教史学専攻以外の学生
歴史学科文化遺産学専攻必修専攻科目：普通講義A、普通講義B、特殊講義、講読（受講指定された科目を除く）の科目						歴史学科文化遺産学専攻以外の学生
1	考古学（日本）A	2	L-09-ARC-1-1-392	200	深草	
2	考古学（日本）B	2	L-09-ARC-1-1-393	200	深草	

1	考古学（アジア）A	2	L-09-ARC-1-1-442	200	深草	
2	考古学（アジア）B	2	L-09-ARC-1-1-443	200	深草	
1	古文書学入門A	2	L-09-HSG-1-1-381	200	深草	歴史学科日本文学専攻の学生のみ
2	古文書学入門B	2	L-09-HSG-1-1-382	200	深草	歴史学科日本文学専攻の学生のみ
3	美術史（日本）A	2	L-09-FAH-2-1-396	300	大宮	
4	美術史（日本）B	2	L-09-FAH-2-1-397	300	大宮	
3	美術史（アジア）A	2	L-09-FAH-2-1-446	300	大宮	
4	美術史（アジア）B	2	L-09-FAH-2-1-447	300	大宮	
3	日本文化史Ⅰ	2	L-09-JPH-2-1-383	300	深草	
4	日本文化史Ⅱ	2	L-09-JPH-2-1-384	300	深草	
3	中国文化史Ⅰ	2	L-09-HAA-2-1-436	300	深草	
4	中国文化史Ⅱ	2	L-09-HAA-2-1-437	300	深草	
3・4	文化人類学概論	4	L-09-CUA-2-1-439	300	大宮	
3	日本宗教史A	2	L-09-JPH-2-1-400	300	大宮	
4	日本宗教史B	2	L-09-JPH-2-1-401	300	大宮	
3	建築史概論	2	L-09-HSG-2-1-547	300	大宮	
4	工芸文化概論	2	L-09-CUA-2-1-824	300	大宮	
5	民俗学（日本）A	2	L-09-CUA-3-1-394	400	大宮	
6	民俗学（日本）B	2	L-09-CUA-3-1-395	400	大宮	
5	民俗学（アジア）A	2	L-09-CUA-3-1-444	400	大宮	
6	民俗学（アジア）B	2	L-09-CUA-3-1-445	400	大宮	
5	史料学（日本）A	2	L-09-JPH-3-1-398	400	大宮	
6	史料学（日本）B	2	L-09-JPH-3-1-399	400	大宮	
5	史料学（アジア）A	2	L-09-HAA-3-1-448	400	大宮	
6	史料学（アジア）B	2	L-09-HAA-3-1-449	400	大宮	
5	古文書学A	2	L-09-HSG-3-1-386	400	大宮	
6	古文書学B	2	L-09-HSG-3-1-387	400	大宮	
5・6	社会事業史	4	L-09-HSG-3-1-385	400	大宮	

■日本語日本文学科関係科目

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
日本語日本文学科専攻必修専攻科目：普通講義、特殊講義、講読の科目						日本語日本文学科以外の学生
1	中国文学ⅠA	2	L-10-CHL-1-1-657	100	深草	ⅠA・ⅠBとⅡA・ⅡBは隔年

2	中国文学ⅠB	2	L-10-CHL-1-1-658	200	深草	開講
1	中国文学ⅡA	2	L-10-CHL-1-1-659	100	大宮	
2	中国文学ⅡB	2	L-10-CHL-1-1-660	200	大宮	
1	現代俳句講座	2	L-10-JLT-1-1-654	100	深草	
3	中国文学史A	2	L-10-CHL-1-1-661	100	大宮	
4	中国文学史B	2	L-10-CHL-1-1-662	200	大宮	
3	日本語教育概論A	2	L-10-JLE-2-1-584	300	大宮	
4	日本語教育概論B	2	L-10-JLE-2-1-585	300	大宮	
3	仏教文学A	2	L-10-LIG-2-1-663	300	大宮	
4	仏教文学B	2	L-10-LIG-2-1-664	300	大宮	
3	情報処理法Ⅰ	2	L-10-POI-2-1-644	300	両学舎	
4	情報処理法Ⅱ	2	L-10-POI-2-1-645	300	両学舎	
3	画像映像処理法Ⅰ	2	L-10-POI-2-1-646	300	大宮	
4	画像映像処理法Ⅱ	2	L-10-POI-2-1-647	300	大宮	
5	書道（書写を含む）A	2	L-10-ARL-3-1-665	400	大宮	
6	書道（書写を含む）B	2	L-10-ARL-3-1-666	400	大宮	
5	言語習得（発達）論A	2	L-10-LIN-3-1-655	400	大宮	
6	言語習得（発達）論B	2	L-10-LIN-3-1-656	400	大宮	
5	メディア論A	2	L-10-SOC-3-1-648	400	大宮	
6	メディア論B	2	L-10-SOC-3-1-649	400	大宮	
5	日本語教授法Ⅰ	2	L-10-JLE-3-1-650	400	大宮	
6	日本語教授法Ⅱ	2	L-10-JLE-3-1-651	400	大宮	

■英語英米文学科関係科目

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
英語英米文学科専攻必修専攻科目：普通講義A、特殊講義、講読の科目						英語英米文学科 以外の学生
1	英語音声学A	2	L-11-ENL-1-1-774	200	深草	
2	英語音声学B	2	L-11-ENL-1-1-775	200	深草	
3	英文学史A	2	L-11-LIE-2-1-762	300	大宮	
4	英文学史B	2	L-11-LIE-2-1-763	300	大宮	
3	米文学史A	2	L-11-LIE-2-1-764	300	大宮	
4	米文学史B	2	L-11-LIE-2-1-765	300	大宮	
3	英語発達史A	2	L-11-ENL-2-1-766	300	大宮	
4	英語発達史B	2	L-11-ENL-2-1-767	300	大宮	
3	英国文化史A	2	L-11-CIE-2-1-768	300	大宮	

4	英国文化史B	2	L-11-CIE-2-1-769	300	大宮	
3	米国文化史A	2	L-11-CIE-2-1-770	300	大宮	
4	米国文化史B	2	L-11-CIE-2-1-771	300	大宮	
3	言語学概論A	2	L-11-LIN-2-1-772	300	大宮	
4	言語学概論B	2	L-11-LIN-2-1-773	300	大宮	
3	Oral Communication I A	2	L-11-ENG-2-1-776	300	両学舎	
4	Oral Communication I B	2	L-11-ENG-2-1-777	300	両学舎	
3	Oral Communication II A	2	L-11-ENG-2-1-778	300	大宮	
4	Oral Communication II B	2	L-11-ENG-2-1-779	300	大宮	
5	イングリッシュ・レクチャー (英米のポピュラー・カルチャー) I	2	L-11-CIE-2-1-754	300	深草	
6	イングリッシュ・レクチャー (英米のポピュラー・カルチャー) II	2	L-11-CIE-2-1-755	300	深草	
5	イングリッシュ・レクチャー (英米の風土と習慣) I	2	L-11-CIE-2-1-756	300	深草	
6	イングリッシュ・レクチャー (英米の風土と習慣) II	2	L-11-CIE-2-1-757	300	深草	
5	Oral Communication IIIA	2	L-11-ENG-3-1-780	400	大宮	
6	Oral Communication IIIB	2	L-11-ENG-3-1-781	400	大宮	
5	English Academic Writing II A	2	L-11-ENG-3-1-782	400	大宮	
6	English Academic Writing II B	2	L-11-ENG-3-1-783	400	大宮	
5	英語圏文化論A	2	L-11-LIE-3-1-784	400	大宮	
6	英語圏文化論B	2	L-11-LIE-3-1-785	400	大宮	

■教職課程関係科目

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	教育情報処理演習	2	L-04-SEM-1-1-295	100	深草	第2学期（後期） にも開講
3	日本史A	2	L-17-JPH-2-1-390	300	大宮	
4	日本史B	2	L-17-JPH-2-1-391	300	大宮	
3	東洋史A	2	L-17-HAA-2-1-440	300	大宮	
4	東洋史B	2	L-17-HAA-2-1-441	300	大宮	
3・4	西洋史	4	L-17-HEA-2-1-438	300	大宮	
3・4	人文地理学	4	L-17-HUG-2-1-388	300	大宮	
3・4	歴史地理学	4	L-17-GGR-2-1-402	300	大宮	
3・4	社会学概説	4	L-03-SOC-2-1-235	300	大宮	
3・4	社会事業概説	4	L-03-SOC-2-1-236	300	大宮	

5・6	経済原論	4	L-04-ECT-3-1-302	400	大宮	
5・6	法学概論	4	L-04-PUL-3-1-326	400	大宮	
5・6	政治学原理	4	L-04-POL-3-1-311	400	大宮	
5・6	地理学（地誌）	4	L-17-GGR-3-1-380	400	大宮	
5・6	自然地理学	4	L-17-GGR-3-1-389	400	両学舎	

■博物館学芸員課程関係科目

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	(博) 生涯学習概論	2	L-18-CAS-1-1-551	100	深草	
1	博物館概論	2	L-18-CAS-1-1-549	100	深草	
1	博物館教育論	2	L-18-CAS-1-1-552	100	深草	
2	博物館資料論	2	L-18-CAS-1-1-550	200	深草	
3	博物館経営論	2	L-18-CAS-2-1-553	300	大宮	
4	博物館資料保存論	4	L-18-CAS-2-1-555	300	大宮	
4	博物館展示論	4	L-18-CAS-2-1-556	300	大宮	
4	博物館情報・メディア論	4	L-18-CAS-2-1-554	300	深草	

■矯正・保護課程関係科目

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
2	矯正・保護入門	2	L-15-CRL-1-1-790	200	深草	
3・4	矯正概論	4	L-15-CRL-3-1-791	300	深草	
3・4	更生保護概論	4	L-15-SWS-2-1-792	300	深草	
3・4	矯正教育学	4	L-15-CRL-2-1-793	300	深草	
3	成人矯正処遇	2	L-15-CRL-3-1-801	400	深草	
4	保護観察処遇	2	L-15-CRL-3-1-800	400	深草	
4	犯罪学	2	L-15-CRL-2-1-799	400	深草	
5・6	被害者学	4	L-15-CRL-2-1-796	400	両学舎	
5・6	矯正社会学	4	L-15-CRL-2-1-794	400	深草	
5・6	犯罪心理学	4	L-15-CRL-2-1-798	400	両学舎	
6	青少年問題	2	L-15-CRL-3-1-797	400	深草	
6	矯正医学	2	L-15-CRL-2-1-795	400	深草	

■留学関係科目（RISE Program関係科目は除く）

詳細は以下を確認すること

各種留学・国際文化交流研修・海外研修について

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
------	-----	----	----------	------	------	----

1	国際文化交流研修 2	2	L-11-ENG-1-1-758	—	—	
1	国際文化交流研修 4	4	L-11-ENG-1-1-759	—	—	
1	国際文化交流研修 8	8	L-11-ENG-1-1-760	—	—	
3	海外研修	4	L-11-ENG-3-1-761	400	—	台湾留学プログラム
5	海外研修	4	L-11-ENG-3-1-761	400	—	英語集中プログラム

■文学部共通科目

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	探究型科目PBL入門	2	L-12-SEM-1-1-786	100	深草	
5・6	探究型科目PBL演習	4	L-12-SEM-3-1-787	400	大宮	

■キャリア開発科目

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	キャリア形成論	4	L-13-CAE-1-1-788	100	深草	1・2年次のみ 第2学期（後期） にも開講
5	キャリア開発論	4	L-13-CAE-3-1-789	400	大宮	3年次のみ

【3】 随意科目 開設科目一覧

■教職課程科目

履修方法等については、入学年度の教職課程ガイドブックを確認すること

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	教職コンピュータ基礎	2	—	—	深草	第2学期（後期） にも開講
3	生徒・進路指導論	2	—	—	深草	
3	学校教育社会学	2	—	—	深草	第2学期（後期） にも開講
3	教職論	2	—	—	深草	
4	教育課程論	2	—	—	深草	
3・4	介護等体験	2	—	—	深草	
3	宗教科教育法A	2	—	—	深草	
4	宗教科教育法B	2	—	—	深草	
3	国語科教育法A	2	—	—	深草	
4	国語科教育法B	2	—	—	深草	
3	英語科教育法A	2	—	—	深草	
4	英語科教育法B	2	—	—	深草	

4	体育実技	1	—	—	深草	歴史学科文化遺産学専攻のみ
5	道徳教育指導法	2	—	—	大宮	
6	教育の方法と技術	2	—	—	大宮	
5	総合的な学習の時間・特別活動論	2	—	—	大宮	
5・6	教育実習指導Ⅰ	1	—	—	大宮	
5	教育相談	2	—	—	大宮	
5	宗教科教育法Ⅰ	2	—	—	大宮	
6	宗教科教育法Ⅱ	2	—	—	大宮	
5	国語科教育法Ⅰ	2	—	—	大宮	
6	国語科教育法Ⅱ	2	—	—	大宮	
5	英語科教育法Ⅰ	2	—	—	大宮	
6	英語科教育法Ⅱ	2	—	—	大宮	
5	社会科・地歴科教育法Ⅰ	2	—	—	大宮	
6	社会科・地歴科教育法Ⅱ	2	—	—	大宮	
5	社会科・公民科教育法Ⅰ	2	—	—	大宮	
6	社会科・公民科教育法Ⅱ	2	—	—	大宮	
7・8	教育実習指導ⅡA（中免用実習）	4	—	—	大宮	
7・8	教育実習指導ⅡB（高免用実習）	2	—	—	大宮	
8	教職実践演習（中・高）	2	—	—	大宮	

■博物館学芸員課程科目

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
7・8	博物館実習	3	L-18-CAS-4-0-557	—	大宮	

■図書館司書課程科目（2012年度以降入学生対象科目）

担当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1	(司) 生涯学習概論	2	L-14-LIH-1-0-674	—	深草	
1	(司) 図書館情報学概論	2	L-14-LIH-1-0-675	—	深草	
2	(司) 図書館サービス概論	2	L-14-LIH-1-0-680	—	深草	
2	(司) 図書館情報資源概論	2	L-14-LIH-1-0-683	—	深草	
2	(司) 図書・図書館史	2	L-14-LIH-1-0-687	—	深草	
2	(司) 図書館基礎特論	2	L-14-LIH-1-0-690	—	深草	
3	(司) 図書館情報技術論	2	L-14-LIH-2-0-678	—	深草	
3	(司) 情報サービス論	2	L-14-LIH-2-0-676	—	深草	
3	(司) 児童サービス論	2	L-14-LIH-2-0-677	—	深草	

3	(司) 情報資源組織論	2	L-14-LIH-2-0-684	—	深草	
3	(司) 図書館情報資源特論	2	L-14-LIH-2-0-688	—	深草	
3	(司) 図書館サービス特論	2	L-14-LIH-2-0-691	—	深草	
3	(司) 図書館施設論	2	L-14-LIH-2-0-672	—	深草	
3	(司) 情報サービス実習A	1	L-14-LIH-2-0-681	—	深草	
4	(司) 情報サービス実習B	1	L-14-LIH-2-0-682	—	深草	
4	(司) 図書館制度・経営論	2	L-14-LIH-2-0-679	—	深草	
4	(司) 情報資源組織実習A	1	L-14-LIH-2-0-685	—	深草	
4	(司) 情報資源組織実習B	1	L-14-LIH-2-0-686	—	深草	
5	(司) 図書館実習	1	L-14-LIH-3-0-689	—	深草	
5	(司) 図書館総合演習	2	L-14-LIH-3-0-673	—	深草	

■学校図書館司書教諭課程科目

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
3	(学) 学校経営と学校図書館	2	L-14-LIH-2-0-667	—	深草	
3	(学) 学校図書館とメディアの構成	2	L-14-LIH-2-0-669	—	深草	
4	(学) 学習指導と学校図書館	2	L-14-LIH-2-0-669	—	深草	
4	(学) 読書と豊かな人間性	2	L-14-LIH-2-0-670	—	深草	
4	(学) 情報メディアの活用	2	L-14-LIH-2-0-671	—	深草	

■本願寺派教師資格課程科目

教化法については、深草・大宮ともに開講されるが1科目の修得でよい

配当セメ	科目名	単位	科目ナンバリング	グレード	開講学舎	備考
1・2	勤式	4	L-18-CIB-1-0-093	—	深草	
1・2	教化法	4	L-18-CIB-1-0-095	—	深草	
1・2	(本山教師) 仏教史	1	L-18-CIB-1-0-190	—	深草	
1・2	(本山教師) 宗教概説	1	L-18-RES-1-0-096	—	深草	
2	宗門法規	2	L-18-CIB-1-0-094	—	深草	
5・6	教化法	4	L-18-CIB-1-0-095	—	大宮	

【4】 グレードナンバー制

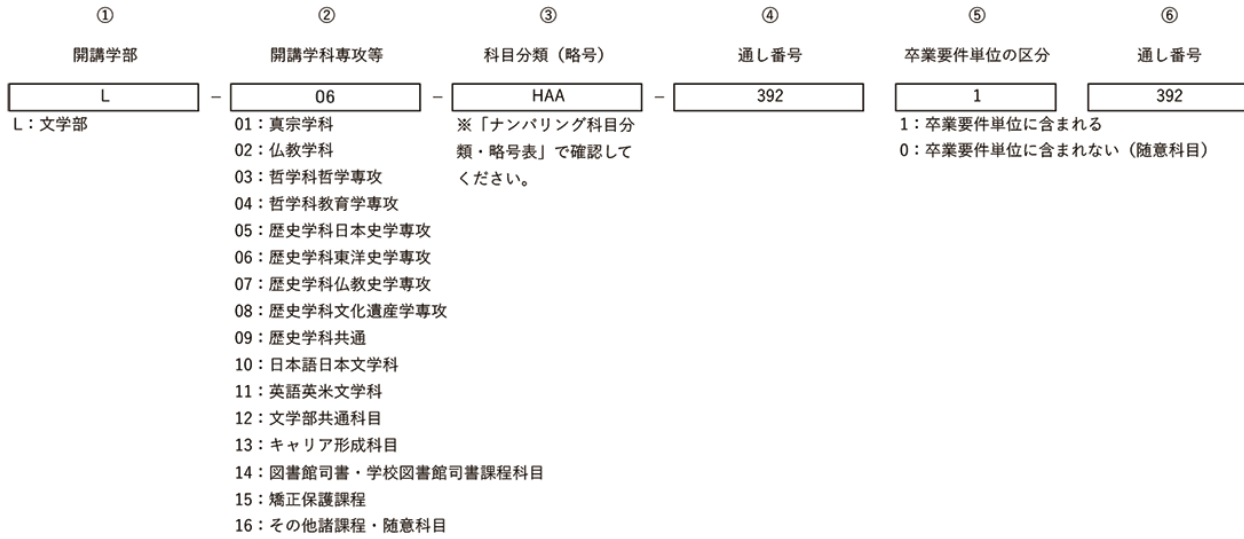
文学部で開設される授業科目には、グレードナンバーが付されています。これは、科目のレベルを簡明に表示したものです。学修計画の設計にあたって、これを参考にしてください。

基礎					応用
グレード	100	200	300	400	500

【5】科目ナンバリング

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序を表し、教育課程の体系的性を明示する仕組みです。

文学部における科目ナンバリングコード体系



ナンバリング科目分類・略号表

系	分野	略号	分科	略号	細目名（Research Field）	
—	—	—	—	SEM	ゼミナール	Seminar
				THE	卒業論文	Graduation thesis
				CAE	キャリア教育	Career education
総合系	複合領域	CAS	文化財科学・博物館学	CAS	文化財科学・博物館学	Cultural assets study and museology
		GGR	地理学	GGR	地理学	Geography
	情報学	FRI	情報学フロンティア	LIH	図書館情報学・人文社会情報学	Library and information science / Humanistic social informatics
		POI	情報学基礎			Principles of Informatics
人文社会系	人文学	PHI	哲学	PHE	哲学・倫理学	Philosophy / Ethics
				CIB	中国哲学・印度哲学・仏教学	Chinese philosophy / Indian philosophy / Buddhist studies
				RES	宗教学	Religious studies
				HIT	思想史	History of thought
		ART	芸術学	ASA	美学・芸術諸学	Aesthetics and studies on art
				FAH	美術史	Fine art history
				ARL	芸術一般	Art at large
		LIT	文学	JLT	日本文学	Japanese literature
				LIE	英米・英語圏文学	Literature in English
				EUL	ヨーロッパ文学	European literature
				CHL	中国文学	Chinese literature

		LIG	文学一般	Literature in general	
	言語学	LIN	言語学	Linguistics	
		JLN	日本語学	Japanese Linguistics	
		ENG	英語	English	
		ENL	英語学	English Linguistics	
		JLE	日本語教育	Japanese language education	
		FLE	外国語教育	Foreign language education	
		史学	HSG	史学一般	Historical studies in general
	JPH		日本史	Japanese history	
	HAA		アジア史・アフリカ史	History of Asia and Africa	
	HEA		ヨーロッパ史・アメリカ史	History of Europe and America	
	ARC		考古学	Archaeology	
	HUG	人文地理学	HUG	人文地理学	Human geography
	CUA	文化人類学	CUA	文化人類学・民俗学	Cultural anthropology
社会科学	法学	FUL	基礎法学	Fundamental law	
		PUL	公法学	Public law	
		ILA	国際法学	International law	
		SOL	社会法学	Social law	
		CRL	刑事法学	Criminal law	
		CIL	民事法学	Civil law	
		NFL	新領域法学	New fields of law	
	政治学	POL	政治学	Politics	
		INR	国際関係論	International relations	
	経済学	ECT	理論経済学	Economic theory	
		EDE	経済学説・経済思想	Economic doctrine / Economic thought	
		ECS	経済統計	Economic statistics	
		ECP	経済政策	Economic policy	
		PFP	財政・公共経済	Public finance / Public economy	
		MOF	金融・ファイナンス	Money / Finance	
		ECH	経済史	Economic history	
	経営学	MAN	経営学	Management	
		CME	商学	Commerce	
		ACC	会計学	Accounting	
	社会学	SOC	社会学	Sociology	
		SWS	社会福祉学	Social welfare and social work studies	

		PSY	心理学	SOP	社会心理学	Social psychology
				EDP	教育心理学	Educational psychology
				CLI	臨床心理学	Clinical psychology
				EXP	実験心理学	Experimental psychology
		EDU	教育学	EDU	教育学	Education
				SOE	教育社会学	Sociology of education
				ESS	教科教育学	Education on school subjects and activities
				SNE	特別支援教育	Special needs education

※ 参考：科学研究費助成事業「系・分野・分科・細目表キーワード一覧」（日本学術振興会）

※ 「ゼミナール」「卒業論文」「キャリア教育」については、龍谷大学文学部教務課として科目分類（略号）を設定する。

諸課程

【1】本願寺派学階課程

1) 学階の種類

勤学、司教、輔教、助教、得業

2) 昇階の定年（学階規程第9条第1項関係）

得業から助教への昇階 3年

助教から輔教への昇階 4年

輔教から司教への昇階 7年

3) 学階試験

予試

真宗学または仏教学に関する論文と口述試問

本試

真宗学及び仏教学に関する問題について行い、その試験方法及び範囲は次に掲げるとおりとする。

	筆記試験	口述試問
輔教の本試	真宗学または仏教学	同左
助教の本試	真宗学は宗祖部 仏教学は天台教義及び華嚴教義	同左
得業の本試	真宗学は宗祖部 仏教学は俱舍教義及び唯識教義	同左

殿試

学階取得の基礎となる殿試が、毎年春秋2回勸学寮で実施される（殿試規程第2条第2項）。

殿試とは、初めて学階を取得するときに受けなければならない試験であり（学階規程第5条）、宗意安心に関する試問をいう（殿試規程第2条第1項）。

4) 学階試験（予試本試）の免除

学階規程第15条にもとづき、龍谷大学卒業生で所定科目の単位修得者は、学長の推薦により次のとおり学階試験の予試及び本試を免除する。（ただし、既に助教または得業の学階を有し、現学階取得後の進路によって学階規程第15条に該当する輔教または助教の予試及び本試の免除資格を満たしたものは、同規程第9条第1項の昇階定年にかかわらず、当該学階の授与を願い出ることができるものとする。

輔教

○龍谷大学大学院文学研究科修士課程修了生で、真宗学または仏教学を専攻した者

○龍谷大学大学院実践真宗学研究科修士課程修了生で、実践真宗学研究科履修要項掲載の所定科目の単位を修得し、かつ修士論文を提出した者

助教

龍谷大学文学部真宗学科または仏教学科の卒業生（1991年度以前入学生は仏教学科真宗学専攻または仏教学専攻の卒業生）で、所定科目の単位を修得した者

得業

龍谷大学短期大学部仏教科卒業生

5) 学階試験（予試本試）の免除に係わる特例

（ここでいう「有資格者」「資格者」とは、助教または輔教の予試および本試の免除資格を有するものをいう）

特例①

龍谷大学文学部真宗学科または仏教学科の卒業生（1991年度以前入学生は仏教学科真宗学専攻または仏教学専攻の卒業生）で、龍谷大学大学院文学研究科修士課程（真宗学専攻または仏教学専攻）を修了した場合、助教または無学階者であっても、龍谷大学文学部真宗学科または仏教学科の卒業生（1991年度以前入学生は仏教学科真宗学専攻または仏教学専攻の卒業生）をもって助教有資格者とみなし、学部を卒業して4年後に輔教授と願出の資格あるものとする。ただし、助教を願い出る場合は、助教所定科目を修得しておかなければなりません。

特例②

他大学の卒業生、龍谷大学文学部以外の学部の卒業生、龍谷大学文学部真宗学科または仏教学科の卒業生（1991年度以前入学生は仏教学科真宗学専攻または仏教学専攻の卒業生）以外の学科の卒業生で、龍谷大学大学院文学研究科修士課程（真宗学専攻または仏教学専攻）を修了した場合、無学階者であっても、その修士課程入学をもって助教有資格者とみなし、その修士課程に入学して4年後に輔教授と願出の資格を得られるものとする。

ただし、助教または得業を願い出る場合は、予試本試免除論文を提出し、学階審査委員会の審査を経なければならない（学階規程第14条口の項）。助教または得業の願出については、出身大学・学部・学科により、次のとおり手続き方法が区分される。

区分イ

○龍谷大学文学部以外の学部の卒業生

○他大学の文学部または仏教学部等の卒業生

龍谷大学大学院文学研究科修士課程（真宗学専攻または仏教学専攻）在学中より助教または得業の願出ができる。

区分ロ

龍谷大学文学部真宗学科または仏教学科の卒業生（1991年度以前入学生は仏教学科真宗学専攻または仏教学専攻の卒業生）以外の学科の卒業生

龍谷大学大学院文学研究科修士課程（真宗学専攻または仏教学専攻）在学中より助教または得業の願出ができる。所定科目を修得し、その成績が優秀な者については、特例③が適用されるため、予試本試免除論文の提出を必要としない。

区分ハ

区分イの適用のない他大学の卒業生

龍谷大学大学院文学研究科修士課程（真宗学専攻または仏教学専攻）修了後に助教または得業の願出ができる。

特例③

龍谷大学文学部の卒業生で、真宗学科または仏教学科の卒業生（1991年度以前入学生は仏教学科真宗学専攻または仏教学専攻の卒業生）以外の学科を卒業した者の内、所定科目を修得し、その成績が優秀な者には、学階試験委員会の審査を経て、助教または得業の予試本試が免除される（学階規程第15条第2項）。

6) 適用上の注意

この規則は、1988年度からの施行であり、1986年度以降文学部入学生及び1988年度以降大学院文学研究科修士課程入学生に適用されるものである。1985年度以前文学部入学生及び1987年度以前大学院文学研究科修士課程入学生については、当該入学年度の履修要項「本願寺派学階課程」が適用される。

付則

この規則は、1988年4月1日から施行し、1986年度文学部入学生及び1988年度以降大学院文学研究科修士課程入学生より適用する。
（1988年1月27日教授会決定）

1992年度の真宗学科及び仏教学科開設に伴い一部改正（1992年3月4日教授会承認）

この規則は、浄土真宗本願寺派の学階規程に係わる内規の一部改正に伴い、2002年4月1日から施行する。（2003年1月15日教授会承認）

この規則は、浄土真宗本願寺派の学階規程に係わる内規の一部改正に伴い、2007年4月1日から施行する。（2007年2月23日教授会承認）

学階にかかわる上記履修要項上の規定は本願寺宗務所で管理されてきた各種の規程の解釈を整理し、成文化したものです。したがって、学階課程を既に履修した者の利益を考慮し、実務上はその適用を遡及させています。ただし、下記に表示されている学階課程としての所定科目については、原則として、在学時の履修要項が適用されます。
また、助教及び得業については、文学部卒業後の科目等履修も可能です。

2020年度以降入学生

助教所定科目		得業所定科目			
科目	規定単位数	科目		規定単位数	
真宗学概論A1及びA2	4	真宗学概論A1及びA2		4	
仏教学概論A1及びA2	4	仏教学概論A1及びA2		4	
浄土教概論 浄土教理史A及びB 真宗聖典学A及びB	12 (ア～エの中から 4単位を 含んで12単位)	浄土教理史A及びB 仏教聖典学概論A及びB 真宗伝道学A及びB 真宗教学史A及びB		4	
仏教聖典学概論A及びB					ア
インド仏教教学史A及びB					イ
中国仏教教学史A及びB					ウ
日本仏教教学史A及びB					エ
真宗伝道学A及びB 真宗教学史A及びB 比較思想論					
真宗史A及びB	ア	真宗史A及びB	ア	ア～カ の中から 4単位	
仏教文化史概論A及びB	イ	仏教文化史概論A及びB	イ		
インド仏教史A及びB	ウ	インド仏教史A及びB	ウ		
西域仏教史A及びB	エ	西域仏教史A及びB	エ		
中国仏教史A及びB	オ	中国仏教史A及びB	オ		
日本仏教史A1及びA2	カ	日本仏教史A及びB	カ		
日本仏教史B1及びB2	キ				
真宗学科開講特殊講義	16	真宗学科開講特殊講義		8	
真宗学科開講講読		真宗学科開講講読			
仏教学科開講特殊講義		仏教学科開講特殊講義			
仏教学科開講講読		仏教学科開講講読			

【2】社会福祉主事任用資格課程

希望者は厚生労働大臣の指定する科目3科目以上を修得して卒業してください。

注意

「心理学」及び「心理学概論A」「心理学概論B」の3科目や「倫理学A」及び「倫理学B」「倫理学概論」の3科目を修得しても、厚生労働大臣の指定する科目を3科目修得したことはありませんので、注意してください。

厚生労働大臣の指定する科目	本学開講科目	
社会福祉概説	【専攻科目】	社会事業概論（4単位） 社会事業概説（4単位）
社会福祉事業史	【専攻科目】	社会事業史（4単位）
精神障害者保健福祉論	【専攻科目】	精神保健学
法学	【専攻科目】	法学概論（4単位）
経済学	【専攻科目】	経済原論（4単位）
心理学 ※1	【教養科目】	①心理学（4単位）
	【専攻科目】	②心理学概論（4単位） ③心理学概論A（2単位）及び心理学概論B（2単位） 【2022年度以前入学生対象】 ④心理学概論（2単位）【2018年度以降入学生対象】
社会学	【専攻科目】	社会学概論（4単位） 社会学概説（4単位）
教育学 ※2	【教養科目】	①教育原論A（2単位）及び教育原論B（2単位）
	【専攻科目】	②教育学概論（4単位）【2023年度以前入学生対象】 ③教育学概論（2単位）【2024年度以降入学生対象】
倫理学 ※3	【教養科目】	①倫理学入門（2単位）【2014年度以前入学生対象】 ②倫理学A（2単位）及び倫理学B（2単位）【2015年度以降入学生対象】
	【専攻科目】	③倫理学概論（4単位） ④倫理学概論A（2単位）及び倫理学概論B（2単位） ⑤倫理学概論（2単位）【2017年度以降入学生対象】
医学一般		医学概論

★開講状況は年度によって異なるため、各自シラバス等で確認してください。

※1 ①から④の1つの組み合わせで厚生労働大臣の指定する科目「心理学」分野1科目となります。「心理学概論A」または「心理学概論B」の1科目のみの修得だけでは、厚生労働大臣の指定する科目「心理学」分野1科目を修得したことはありません。

※2 ①から③の1つの組み合わせで厚生労働大臣の指定する科目「教育学」分野1科目となります。「教育原論A」または「教育原論B」の1科目のみの修得だけでは、厚生労働大臣の指定する科目「教育学」分野1科目を修得したことはありません。

※3 ①から⑤の1つの組み合わせで厚生労働大臣の指定する科目「倫理学」分野1科目となります。「倫理学A」または「倫理学B」の1科目のみの修得だけでは、厚生労働大臣の指定する科目「倫理学」分野1科目を修得したことはありません。

【3】児童指導員任用資格・児童の遊びを指導する者任用資格

児童福祉施設において直接児童と関わる職種をめざす場合に有効な資格として、「児童指導員任用資格」、「児童の遊びを指導する者」があります。「児童指導員」は児童養護施設等で、「児童の遊びを指導する者」は児童厚生施設で必置とされる職種です。法律の定めにより、これら職種に任用されるための条件があります。

1. 児童指導員任用資格

(1) 児童指導員の職務

児童指導員とは、児童養護施設等において、児童の生活指導を行う者をいいます。

(2) 児童指導員の資格の取得

児童指導員の資格は、次のいずれかの条件を満たすことにより取得できます。

- ① 社会福祉士の資格を有する者。
- ② 精神保健福祉士の資格を有する者。
- ③ 学校教育法の規定による大学の学部で、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者。
- ④ 教育職員免許法の規定により、幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は中等教育学校の教諭となる資格を有する者で、都道府県知事が適当と認めたもの。

※哲学科教育学専攻は③に該当します。

2. 児童の遊びを指導する者任用資格

(1) 児童の遊びを指導する者（児童厚生員）の職務

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の第38条にあるように、児童館等の児童厚生施設において、児童の遊びを指導する者をいいます。

(2) 児童の遊びを指導する者の資格の取得

児童の遊びを指導する者の資格は、次のいずれかの条件を満たすことにより取得できます。

- ① 保育士の資格を有する者。
- ② 社会福祉士の資格を有する者。
- ③ 教育職員免許法の規定により、幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は中等教育学校の教諭となる資格を有する者。
- ④ 学校教育法の規定による大学において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者で児童厚生施設の設置者が適当と認めたもの。

※哲学科教育学専攻は④に該当します。

【4】国際伝道者養成プログラム

国際伝道者養成プログラムは、国際的な視野を持った真宗・仏教の伝道者となるための知識修得を目指すプログラムです。海外の仏教事情に関心を広げ、将来海外伝道者として活躍できる人材の養成を目的とします。

なお、プログラム修了者には『龍谷大学 国際伝道者養成プログラム修了証』を授与します。

(1) プログラムの対象者

実践真宗学研究科および文学研究科、文学部（3年次以上）に在籍する本学学生

(2) プログラム科目および修了要件

実践真宗学研究科の正規科目を基本としつつ、文学研究科および文学部の科目を取り入れ、国際伝道に資する実践的なプログラムとなります。

以下の①～⑥の科目すべてを修得することで、プログラムを修了できます。

	大学院科目	学部科目	単位等
①	外国語文献研究	外国語文献講読	半期2単位
②	国際伝道論研究	国際伝道論	半期2単位
③	教義学講読D1または教義学講読D2		半期2単位
④	比較思想論		半期2単位
⑤	布教伝道論研究	布教伝道論	半期2単位
⑥	真宗伝道学特殊研究	国際伝道特殊演習	通年4単位

※①②⑤⑥は大学院主開講科目で、学部との合併開講

※③④は学部主開講科目

(3) 受講方法

毎年度、履修登録開始前にポータルサイトを通じてお知らせします。

受講にあたり、大学院生および学部生はそれぞれ以下の申請が必要です。

・大学院生

- i) 龍谷大学 国際伝道者養成プログラム受講希望申請書
- ii) 履修要項に定める学部科目履修の申請（学部主開講科目を履修する場合）

・学部生

- i) 龍谷大学 国際伝道者養成プログラム受講希望申請書

※事前に受講の可否を実践真宗学研究科委員会で審議し、承認を得る必要があります。場合により教員との面談が必要となります。

なお、本プログラムは、受講を申請する前学期までに修得済みの科目については、プログラムの修了要件に算入することが可能です。

(4) 受講料について

プログラムの受講料は無料です。なお、実践真宗学研究科および文学研究科の学生が学部科目履修をする際にも、『「実践真宗学研究科学生の学部科目履修に関する内規」第6条（3）」および『「文学研究科学生の学部科目履修に関する内規」第6条（3）」に基づき、科目等履修料は無料となります。

(5) 単位の認定

本プログラムの大学院主開講科目（プログラム科目の①②⑤⑥）は、実践真宗学研究科および文学研究科の学生については大学院の修了要件に含まれますが、学部生については随意科目となり、卒業要件には含まれません。ただし、学部生が大学院主開講科目を別に定める要件を満たして修得した場合、本学大学院（実践真宗学研究科または文学研究科）への進学時に既修得単位として単位認定を申請することが可能です。

各種留学・国際文化交流研修・海外研修について

[1] Ryukoku Intercultural Study Experience Program

1) 5-week

①認定単位：6単位（履修制限単位には含まず）

②認定科目名等

受講科目	単位数	認定科目名	認定分野
English language (RISE)	2	English language (RISE)	教養
Cultural Adaptation (RISE)	2	Cultural Adaptation (RISE)	教養
Global PBL (RISE)	2	Global PBL (RISE)	※

※Global PBL (RISE) の単位認定分野については、学生が専攻科目もしくは教養教育科目を選択する。

・専攻科目で単位認定された場合は選択専攻科目、教養教育科目で単位認定された場合は選択科目として扱われる。

③成績表記：N

2) Semester

①認定単位：18単位

②認定科目名等

受講科目	単位数	認定科目名	認定分野
English language (RISE)	10	必修外国語（英語）科目として個別に認定する。（※）必修外国語（英語）認定後の余剰単位については、「English language (RISE)」（専攻科目又は教養教育科目）として一括認定する。（☆）	
①Social Civic Engagement (RISE)	2	Social Civic Engagement (RISE)	☆
②Applied Cultural Adaptation (RISE)	2	Applied Cultural Adaptation (RISE)	
Advanced Global PBL (RISE)	4	Advanced Global PBL (RISE)	☆

※原則として留学期間中に配当されるセメスター分の言語必修科目（英語）を個別に認定する。また、不合格のため未修得である言語必修科目（英語（すべて1単位））についても認定する。

2025年度以降入学生

学年	1年生		2年生	
	1セメ	2セメ	3セメ	4セメ
開設科目	英語総合1 (A) 英語総合1 (B)	英語総合2 (A) 英語総合2 (B)	英語総合3	英語総合4

☆English language (RISE)・Social Civic Engagement (RISE)・Applied Cultural Adaptation (RISE)・Advanced Global PBL (RISE) の単位認定分野については、学生が専攻科目もしくは教養教育科目を選択する。

③成績表記：N

【2】 交換留学・私費留学における単位認定

1) 認定の上限および分野

原則として、言語科目・選択専攻科目・フリーゾーンの範囲内

2) 1単位の認定にあたっての学修時間の目安

講義科目：675分の授業時間をもって1単位を認定します（90分×15回÷2）

語学科目・実技科目：1,350分の授業時間をもって1単位を認定します（90分×15回）

◎留学にあたっての必要な書類

（※印のあるものは単位認定にあたって必要な書類です。希望者のみ提出してください）

出発前

注) 単位認定を希望する場合は出発前に手続きを行ってください。

手続き・書類	提出先
(交換留学) 情報入力フォーム (私費留学) 渡航方法連絡票・滞在先連絡票	(交換留学) グローバル教育推進センター (私費留学) Campus HUB
※単位認定の申込について	Campus HUB
※国際文化交流研修の申込について	
※国際文化交流研修計画書	
卒業保留願（卒業年次生のみ） 注1	

注1 卒業要件単位を全て満たしている卒業保留希望者は、原則として帰国後の単位認定は行いません。

帰国後

手続き・書類	提出先
留学生帰国報告書	(交換留学) グローバル教育推進センター (私費留学) Campus HUB →グローバル教育推進センター
留学帰国レポート	
成績証明書	
修了証明書	
※単位認定申請書	Campus HUB
※講義科目報告書	
※国際文化交流研修報告書（レポート）	
※履修科目の登録確認表等 （時間割・単位数等が記載されたもの）	
※学年暦	
※シラバス	
※受講時間割	

☆卒業年次生で帰国後卒業を希望する学生の書類提出期日は1月末日です。

3) 卒業年次に留学する場合の注意点

留学終了後直ちに卒業するためには、次の条件をすべて満たす必要があります。書類での手続きが必要なため、事前にCampus HUBに相談してください。

- ① 留学終了後に認定が確実な科目を除いて、卒業年次の残単位数が「演習Ⅱ」「卒業論文」の8単位以下であること。
- ② 卒業論文の内容が、留学先での勉学と密接に関係があり、留学先の教員による論文作成指導を受けることができること。
- ③ 留学中においても、文学部指導教員およびCampus HUBと定期的に連絡をもてるようにすること。

4) 後期から留学する場合の通年開講の演習科目の取り扱い

前期に演習科目を登録しているので、後期から1年間留学すると通年科目の登録が無効となります。しかし、指導教授が認めた場合、演習科目に限っては、帰国後、後期に演習科目の後期開講部分を履修することにより単位を認定することができます。ただし、対象となる科目は通年開講「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「卒業論文」の5科目に限られています。詳細については、Campus HUBに相談してください。

【3】国際文化交流研修

この科目は、通常の開設科目とは異なり、学生が自主的に行う海外での国際文化交流に対して単位を認定するものです。大学が全て用意したパック研修ではなく、学生の個性と自主性にもとづいた国際文化交流（短期研修・語学研修・交換留学・私費留学等）を評価し、単位を認定します。研修旅行や留学の目的・期間・行先等を、学生自身で計画し、実行することができます。履修登録を希望する学生は、定められた手続きに従ってください。

1) 受講対象

文学部1年次以上の正規学生

2) 科目名等

「国際文化交流研修」選択専攻科目として卒業要件単位となります。

3) 認定単位

2～8単位（履修制限単位には含まれません） ※次の基準で単位数は定められています。

2単位：3週間程度の研修期間で、4,000字程度の「国際文化交流研修報告書」を提出した場合

4単位：5週間程度の研修期間で、8,000字程度の「国際文化交流研修報告書」を提出した場合

8単位：6か月以上の正規留学期間で、12,000字程度の「国際文化交流研修報告書」を提出した場合

※8単位以内であれば、単位を分割して複数回同科目を履修登録することができます。ただし、在学中修得できるのは8単位が上限です。

4) 履修申込手続き

- ① 所定の「国際文化交流研修計画書」をCampus HUBへ下記期日までに提出してください。この計画書の内容にもとづいて、履修登録の許可が判定されます。

夏休みに実施する場合：6月末日（土日を除く）

春休みに実施する場合：1月の授業再開日（土日を除く） ※4年次生は春休みの実施不可

- ② 正規留学（私費留学または交換留学）で、この科目を履修登録しようとする場合、計画書の提出期限については個別対応になります。留学前の早い時期にCampus HUBに申し出てください。

ア) 必ず海外で国際文化交流研修を行わなければなりません。

イ) 研修期間は次の2通りに分けられます。

○正規留学ではない短期研修の場合

授業期間外および定期試験期間外を研修期間としなければなりません。必然的に、夏期休業中が主な研修期間になります。しかし、通

常の授業科目履修の障害とならない研修期間の設定が他にある場合は、Campus HUBに相談してください。

○正規留学（私費留学または交換留学）として本学において認められた場合は、正規留学として認められた留学期間が研修期間に該当します。

ウ) 海外旅行傷害保険の加入

履修登録の許可された学生は、必ず海外旅行傷害保険に加入してから研修に出発してください

5) 単位認定・成績評価

- ① 履修登録を許可された学生は、海外での国際文化交流で得た成果を「国際文化交流研修報告書」にまとめ、所定の表紙を貼り付けて、帰国後2週間以内にCampus HUBに提出してください。
- ② 研修先で「修了証明書」等が交付されている場合は、「国際文化交流研修報告書」とともに提出してください。
- ③ 「国際文化交流研修報告書」には指定の様式はありません。認定単位数に応じた字数となるように、自由に報告書を作成できます。
- ④ 履修登録許可時に発表された単位数は、提出された「国際文化交流研修報告書」の内容に応じて変更されることがあります。

※報告書の提出がなかった場合の評点は「0点」となります。

【4】 海外研修

1) 英語集中プログラム

①科目の趣旨

この科目は、通常の開設科目とは異なり、米国及び英国等の大学がもつ英語集中プログラムに学生が自主的に参加して、そこで得た成績に対して文学部が評価を与えるものです。

②対象学生

文学部3年次以上の正規学生

③科目名等

「海外研修」 選択専攻科目として卒業要件単位となります。(※)

④認定単位

4単位（履修制限単位には含まれません）

⑤研修先

説明会時に発表します

⑥履修申込手続き

履修希望者は、説明会に出席し、具体的な手続きを進めてください。

⑦成績評価

研修先で得た成績に対して文学部が評価します。帰国後研修先で得た「修了証明書」等をCampus HUBへ提出してください。

⑧研修期間

4週間から6週間

⑨研修費用

各大学とも授業料は1,000ドル程度

2) 台湾留学プログラム

①科目の趣旨

文学部の国際化を推進するために、夏季休業を利用した台湾短期留学プログラム（学内における事前・事後学習と、3週間の現地プログラム）を実施する。

- 中国語Ⅰ・Ⅱの単位修得を応募資格とする。（事前学習）
- 現地において、前半2週間は台湾の佛光大学にて中国語の語学研修を行い、後半1週間は台湾の歴史や文化に触れるフィールド調査を実施する。（現地プログラム）
- 現地での学びをレポートにまとめ、報告会を実施する。（事後学習）

②対象学生

文学部2年次以上の正規学生

③科目名等

「海外研修」 選択専攻科目として卒業要件単位となります。（※）

④認定単位

4単位（履修制限単位には含まれません）

⑤研修先

台湾

⑥履修申込手続き

履修希望者は、説明会に出席し、具体的な手続きを進めてください。

⑦成績評価

事後レポートをもって文学部が評価します。レポート提出についての詳細は、説明会内で指示します。

⑧研修期間

夏季休暇中の3週間

⑨研修費用

10万円前後

※在学中に両方のプログラムに参加し、単位を修得した場合、4単位分は選択専攻科目として卒業要件単位となりますが、残りの4単位分は随意科目として単位認定されます。

ルーブリックについて

ルーブリック

(1) 「ルーブリック」とは

ルーブリックとは評価水準である「尺度」と、尺度を満たした場合の「特徴の記述」により構成されたものです。ルーブリックを活用することにより、学修の目標が明確にされます。また、先生と学生の皆さんの双方が現時点の達成水準を客観的に把握することができます（中央教育審議会答申『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～』2012年8月28日参照）。

卒業論文ルーブリックは文学部の4年間の学修の集大成である卒業論文の自分の達成水準を知るために使うものです。また、アカデミック・リテラシー・ルーブリックは文学部の皆さんが卒業の時までに備えてほしい基礎的な能力です。いずれも右の列に行くほど達成水準が高くなっていきます。これらのルーブリックを活用することで、学生の皆さんが卒業時までに習得していかなければならない能力を事前に知るとともに、今自分がどの位置にいるのかを知ることができます。

なお、ここで示したルーブリックはあくまでも一例です。これによる評価が皆さんの単位認定に関わる評価にそのまま結びつくとは限りません。特に、卒業論文ルーブリックについては各学科専攻の形式に合わせた形のをスタディガイドに掲載しています。詳しいことは学科・専攻の教員の指示に従ってください。

(2) 文学部アカデミック・リテラシー・ルーブリック

*1 このアカデミックスキル・ルーブリックは学生の皆さんが、龍谷大学の文学部生として求められるスキルを、どの程度達成できているかを確認するためのものです。

*2 おりにふれて、このルーブリックで自分の学修状況を振り返り、自身の学修に足りないものを確認し、各自の学修を深めるツールとして利用してください。

		相当の努力を要する	やや努力を要する	十分満足できる	期待している以上である
①：建学の精神の具現化	建学の精神の意義について理解している。	大学の主催する宗教行事などに全く参加しておらず、建学の精神も理解できていない。	大学の主催する宗教行事などにあまり参加しておらず、建学の精神があまり理解できていない。	大学の主催する宗教行事などにある程度参加し、建学の精神を理解しようと努めている。	大学の主催する宗教行事などに積極的に参加し、建学の精神を体現・実行できている。
②：(③の基礎となる)「知識・技能」の修得	人間社会において「言語(ことば)」の持つ影響力について深く理解し、人文学の幅広い知識を身につけている。	「言語(ことば)」の持つ力をまったく理解できていないため、テキストの読解ができず、人文学の幅広い知識の修得もできていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、「言語(ことば)」の持つ力が必ずしも理解できていないため、テキストを正確に読解できず、人文学の幅広い知識の修得も不十分である。	学科・専攻の教育理念に基づき、「言語(ことば)」の持つ力が一定程度理解できているため、一定程度テキストの読解ができ、幅広い人文学を学んでいる。	学科・専攻の教育理念に基づき、「言語(ことば)」の持つ力が深く理解できているため、テキストの正確な読解ができ、人文学の幅広い知識が身につけている。
	日本語を正確に理解し、論理的な文章を書くと同時に、自らの見解を分かりやすく伝えるための方法を身につけている。	正確な日本語能力がなく、自らの意見を伝えることができない。	学科・専攻の教育理念に基づき、日本語能力を持ち、自らの意見をなんとか伝えることができる。	学科・専攻の教育理念に基づき、正確な日本語能力を持ち、自らの意見を伝えることができる。	学科・専攻の教育理念に基づき、正確な日本語能力を持ち、自らの意見をわかりやすく伝えることができる。
	外国語運用能力や豊かな教養を身につけている。	外国語運用能力をはじめとした教養の学修にまったく取り組めていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、外国語をはじめとした教養の学修に必ずしも積極的に取り組んでいない。	学科・専攻の教育理念に基づき、外国語をはじめとした教養の学修にある程度積極的に取り組んでいる。	学科・専攻の教育理念に基づき、外国語をはじめとした教養の学修に積極的に取り組んでいる。
③：(④の基盤となる)「知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力(「思考力・判断力・表現力」)の発展・向上	他者との相互理解を可能とするような対話能力を身につけている。	他者との相互理解を円滑に行う対話能力が身につけていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、他者との相互理解を行う対話能力が必ずしも身につけていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、他者との相互理解を行う対話能力が一定程度身につけている。	学科・専攻の教育理念に基づき、他者との相互理解を円滑に行う対話能力が身につけている。
	自らが設定した課題について、探求、発見、追究、解決という一連のプロセスを達成する能力を多角的に身につけている。	課題の探求から解決にむけた能力がまったく身につけていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、課題の探求から解決にむけた能力が必ずしも身につけていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、課題の探求から解決にむけた能力がある程度身につけている。	学科・専攻の教育理念に基づき、課題の探求から解決にむけた能力が十分身につけている。
	論理的思考力を培い、現代社会が問いかける問題に対して、多角的に思考・判断することができる。	現代社会が問いかける問題に論理的、かつ多角的な思考をもって、判断できない。	学科・専攻の教育理念に基づき、現代社会が問いかける問題に論理的、かつ多角的な思考をもって、判断することが不十分である。	学科・専攻の教育理念に基づき、現代社会が問いかける問題に論理的、かつ多角的な思考をもって、ある程度判断できる。	学科・専攻の教育理念に基づき、現代社会が問いかける問題に論理的、かつ多角的な思考をもって、十分判断できる能力がある。
④：主体性をもって多様な人々と協働する態度(「主体性・多様性・協働性」)の発展・向上	多様な価値観を認め、言語(ことば)の学修をはじめとした学びを通じて自己の認識を広げ、異なる価値観を受容することができる。	多様な価値観に対する理解がなく、共生の理念に対する理解がない。	学科・専攻の教育理念に基づき、多様な価値観に対する理解と共生の理念が明確に理解できていない。	学科・専攻の教育理念に基づき、多様な価値観に対する理解と共生の理念がある程度身につけている。	学科・専攻の教育理念に基づき、多様な価値観に対する理解を持ち、共生の理念を体現できている。
	他者との交流や異なる価値の受容を通じて、自己を客観視し、他者と協働することができる。	他者との交流や協働することができない。	学科・専攻の教育理念に基づき、他者との交流や協働を通じた異なる価値の受容や自己を客観視することが不十分である。	学科・専攻の教育理念に基づき、他者との交流や協働を通じた異なる価値の受容や自己を客観視することがある程度身につけている。	学科・専攻の教育理念に基づき、他者との交流や協働を通じた異なる価値の受容や自己を客観視することが十分身につけている。
	社会が必要とする職業観・勤労観と生涯を通じた持続的な就業力を身につけている。	職業観や勤労観、持続可能な就業力が身につけていない。	職業観や勤労観、持続可能な就業力が必ずしも身につけていない。	職業観や勤労観、持続可能な就業力がある程度身につけている。	職業観や勤労観、持続可能な就業力が身につけている。

(3) 卒業論文ルーブリック

※卒業論文にかかわる学修進度の目安です。あくまで一例ですから、詳細は各学科・専攻の教員の指導に従ってください。

		1	2	3	4	5
先行研究		国内の先行研究を把握できていない。	国内の先行研究を把握しているが、整理して説明できない。	国内の先行研究を把握し、整理して説明できる。	国外の先行研究も把握しているが、整理して説明することができない。	国内外の先行研究を把握し、整理して説明できる。
問題設定		問題の設定が曖昧である。	ある程度明確な問題を設定しているが、適切な問題であるとはいえない。	ある程度、明確で適切な問題を設定している。	適切で明確な問題を設定しているが、独創性はない。	適切で明確な問題を設定しており、独創性がある。
資料	選択	適切ではない資料を使用しているか、資料を使用していない。	適切な単一の資料(翻訳)を使用している。	適切な単一の資料(原語)を使用している。	適切な複数の資料(翻訳)を使用している。	適切な複数の資料(原語)を使用している。
	読解	ほぼ全体を通して、資料を正しく読解できていない。	資料が正確に読解できている部分とできていない部分が半々である。	7割方読解できている。	若干の問題はあるが、ほぼ正確に資料を読解できている。	資料を正確に読解できている。
	分析	資料が適切に分析できていない。	概ね適切に分析できているが、説明が不十分である。	概ね適切に分析し、それを説明することができている。	資料を適切に分析できているが、説明が不十分である。	資料を正確に分析し、それを十分に説明できている。
考察		資料の分析に基づいておらず、論理的整合性にも欠ける。	概ね資料の分析に基づいているが、論理的整合性に欠ける。	概ね資料の分析に基づき、ほぼ論理的整合性をもった考察を加えている。	資料の分析に基づき、ほぼ論理的整合性をもった考察を加えている。	資料の分析に基づき、論理的整合性をもった考察を加えている。
表現	文章化	伝達したい内容を的確に文章化できていない。	伝達したい内容を、あまり的確に文章化できていない。	伝達したい内容を、7割方は的確に文章化できている。	伝達したい内容をほぼ的確に文章化できている。	伝達した内容を全て的確に文章化できている。
	誤字・脱字	誤字・脱字が非常に多い。	誤字・脱字がやや目立つ。	誤字・脱字が3、4箇所ある。	若干(1、2箇所)の誤字・脱字がある。	誤字・脱字が全くない。
基本的技術	典拠・典拠箇所の明示	典拠・典拠箇所が殆ど明示されていない。	典拠は示されているが、典拠箇所が明示されていない。	典拠・典拠箇所の明示が欠けている部分がある。	典拠・典拠箇所がほぼ明示されている。	典拠・典拠箇所が全て明示されている。
	参考文献表の作成	参考文献がリスト化されていない。	参考文献表に欠落・余分があり、書式も適切ではない。	適切な書式ではあるが、参考文献表に欠落・余分がある。	参考文献表に欠落・余分はないが、書式が適切ではない。	適切な書式で、欠落・余分なく参考文献表が作成されている。
	論文の書式	指定の書式に全く従っていない。	指定の書式にあまり従っていない。	指定の書式に7割方従っている。	指定の書式にほぼ従っている。	指定の書式に全て従っている。